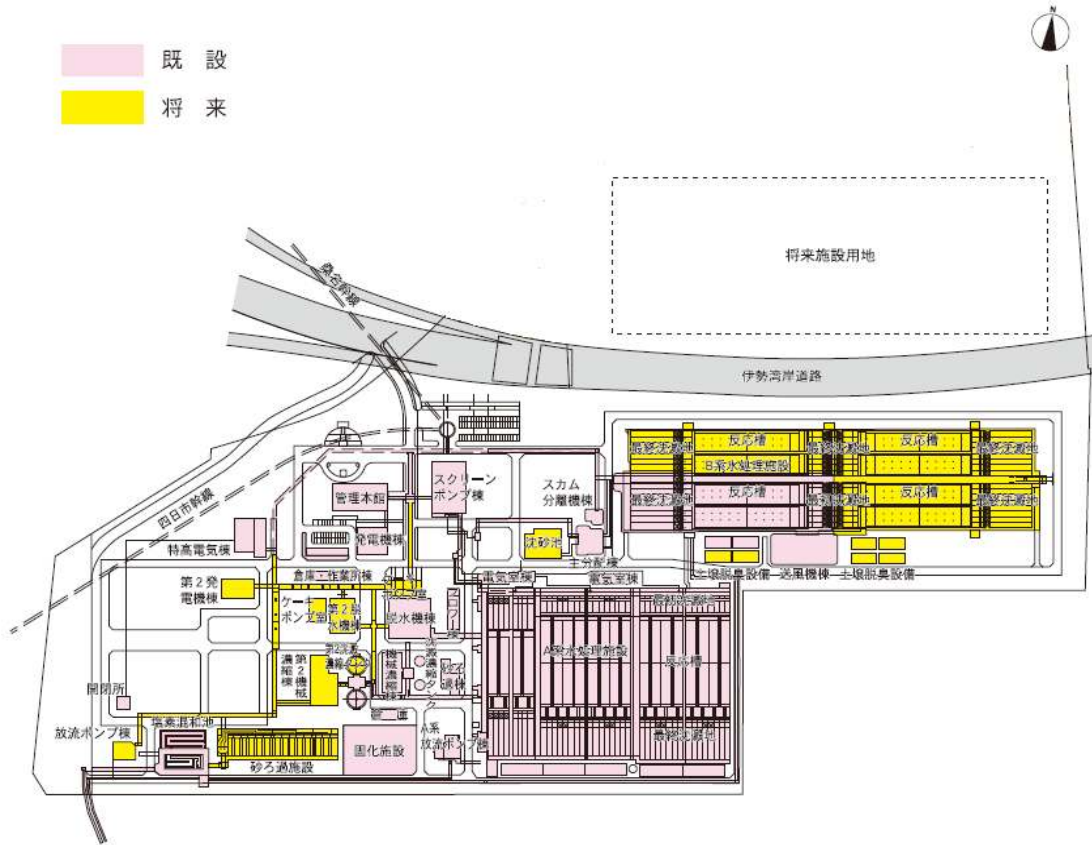


北勢沿岸流域下水道（北部処理区）

北部浄化センターの維持管理

- (1) 施 設 配 置 図
- (2) 幹 線 管 渠 状 況 図
- (3) 施 設 計 画 と 現 況
- (4) 設 備 概 要
- (5) 処 理 フ ロ ー
- (6) 水 質 管 理 状 況
- (7) 処 理 水 量
- (8) 電 力 ・ 水 道 ・ 薬 品 ・ 燃 料
- (9) 汚 泥 脱 水 処 理
- (10) 施 設 点 検 業 務 の 概 要
- (11) 水 質 試 験 業 務
- (12) 周 辺 環 境 調 査

(1) 北部浄化センター施設配置図



計画概要

項目	区分	全体計画	認可計画(H24.3.28)
処理区域面積(ha)		11,900.2	9,289.51
処理区域内人口(人)		348,970	300,000
処理能力(m ³ /日最大)		200,000	169,100
処理方法		疑似嫌気好気法 嫌気無酸素好気法	
排除方式		分流式	
処理場敷地(ha)		37.89	37.89

経過の概要

S52.3.4	北勢沿岸流域下水道北部処理区都市計画決定
52.3.8	同都市計画法による事業認可
52.3.22	同下水道法による事業認可
56.12.22	浄化センター及び幹線管渠の事業着手
62.11.28	通水式
63.1.1	供用開始(四日市市、川越町の一部)
H2.9.1	供用開始(朝日町の一部)
3.1.10	供用開始(桑名市の一部)
6.4.1	供用開始(東員町の一部)
7.4.1	供用開始(大安町の一部)
8.4.1	供用開始(員弁町の一部)
9.3.31	供用開始(北勢町の一部)
9.10.1	供用開始(多度町の一部)
10.10.1	供用開始(藤原町の一部)
12.3.31	供用開始(菰野町の一部)
15.12.1	員弁郡員弁町と大安町、藤原町、北勢町が合併し、いなべ市となる。
16.12.6	桑名市と桑名郡多度町、長島町が合併し、桑名市となる。

市町別の内訳

市町村名	計画処理面積(ha)	処理区域内人口(人)	計画処理水量(m ³ /日最大)
四日市市	3,219.2	120,760	70,088
桑名市	3,203.8	113,270	67,231
いなべ市	2,165.1	36,870	18,940
東員町	975.1	24,250	12,341
菰野町	1,479.0	32,620	17,738
朝日町	279.0	7,600	4,849
川越町	579.0	13,600	8,299
3市4町計	11,900.2	348,970	199,486

(2) 北部処理区幹線管きょ状況図 (供用開始延長: 累計延長)

9幹線	管径 300-2,000 mm	総延長 97.3 km(放流きょ2.2km含む)
(平成25年度 供用開始率 98%=93.4/95.1)		

(四日市幹線)

管径 mm	延長 m	S.61年度	62	63	H.1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
700-2,000	23,300		3,642	3,642	3,642	3,642	3,642	4,768	4,708	7,349	10,403	11,675	11,698	11,698	21,337	22,000	23,300
供用開始率			15.6%	15.6%	15.6%	15.6%	15.6%	20.2%	20.2%	31.5%	44.6%	50.1%	50.1%	50.2%	91.6%	94.4%	100.0%

(朝日幹線)

管径 mm	延長 m	H.1・2年度	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
700-1,000	12,700	2,088	2,088	2,088	2,088	3,554	3,554	3,554	3,614	3,614	5,300	6,358	6,358	6,457	6,817	11,815	12,700
供用開始率		16.4%	16.4%	16.4%	16.4%	28.0%	28.0%	28.0%	28.5%	28.5%	41.7%	50.1%	50.1%	50.8%	53.7%	93.0%	100.0%

(桑名幹線)

管径 mm	延長 m	H.1年度	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
350(2条)-2,000	15,900		6,212	6,212	6,212	7,194	7,194	7,194	7,194	14,304	14,304	15,900
供用開始率			39.1%	39.1%	39.1%	45.2%	45.2%	45.2%	45.2%	90.0%	90.0%	100.0%

(菟野幹線)

管径 mm	延長 m	H.10年度	11	12	13	14	15	24
450-800	7,100			2,086	2,086	2,865	3,203	6,400
供用開始率				29.4%	29.4%	40.4%	45.1%	90.1%

(川越幹線)

管径 mm	延長 m	H.10年度
600-700	800	800
供用開始率		100.0%

(東員幹線)

管径 mm	延長 m	H.6年度	7
1,150	500		500
供用開始率			100.0%

(東員南部幹線)

管径 mm	延長 m	H.23年度	24
300-800	1,000		0
供用開始率			0.0%

(北勢幹線)

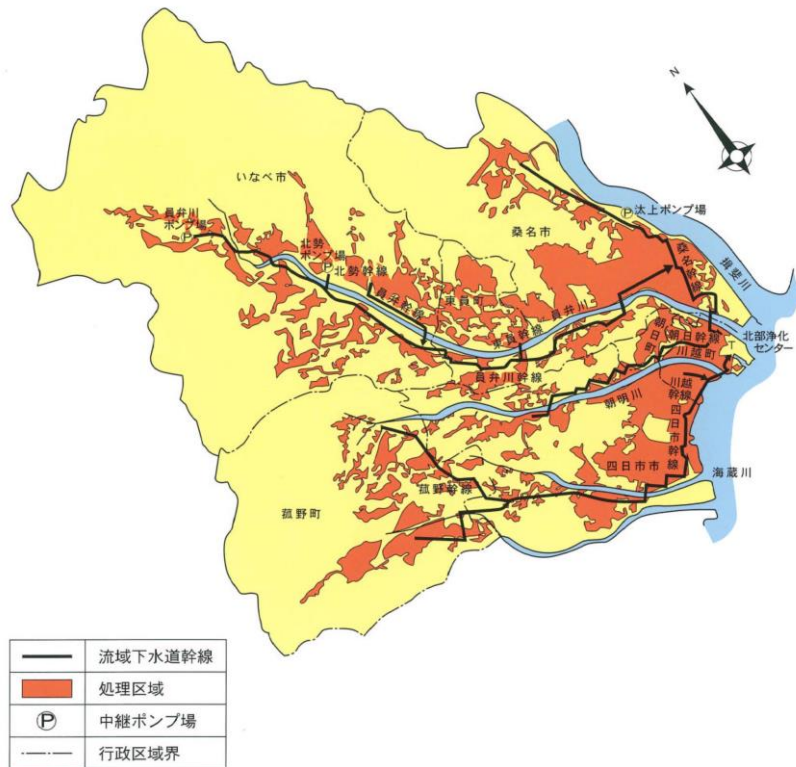
管径 mm	延長 m	H.10年度	11
350	800		800
供用開始率			100.0%

(員弁幹線)

管径 mm	延長 m	H.7年度	8	9	10	11	12
800	4,500		866	1,854	2,720	3,821	4,500
供用開始率			19.2%	41.2%	60.4%	84.9%	100.0%

(員弁川幹線)

管径 mm	延長 m	H.3年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
300-1,500	28,600		3,301	3,301	9,680	15,188	24,249	24,294	24,294	26,868	27,174	28,600
供用開始率			11.5%	11.5%	33.8%	53.1%	84.8%	84.9%	84.9%	93.9%	95.0%	100.0%



(3) 施設計画と現況

形状区分 名称	形状寸法	全体計画	平成25年度現在		
			土木建築	機械電気	摘要
スクリーン	水路巾	4 水路	4 水路	4 水路	
主ポンプ	28.5 m ³ /min × 270kW 61.5 m ³ /min × 450kW 69.0 m ³ /min × 520kW	2 台 1 台 2 台 (内 1 台予備)	1 棟	28.5 m ³ /min × 2 台 (230kW) 61.5 m ³ /min × 1 台 (450kW) 69.0 m ³ /min × 2 台 (520kW)	
最初沈殿池	L27.0×W4.1m×H3.0m L27.0×W8.2m×H3.0m L12.0×W17.6m×H3.0m L12.0×W8.8m×H3.0m L16.5×W9.2m×H3.0m L16.5×W18.4m×H3.0m	4 池 2 池 4 池 8 池 2 池 7 池	4 池 2 池 4 池 8 池 2 池 1 池	4 池 2 池 4 池 8 池 2 池 1 池	
エアレーション タンク	L51.6×W8.6×H5.7m L75.4×W9.1×H5.7m L91.2×W19.5×H5.5m	4 池 16 池 8 池	4 池 16 池 2 池	4 池 16 池 2 池	
最終沈殿池	L38.0×W4.15m×H2.5m L38.0×W8.3m×H2.5m L29.3×W17.6m×H3.5m L32.4×W8.8m×H3.5m L42.5×W18.4m×H3.5m	4 池 2 池 4 池 8 池 8 池	4 池 2 池 4 池 8 池 2 池	4 池 2 池 4 池 8 池 2 池	
次亜塩素酸 ソーダ貯留槽	1 m ³ × 2 槽 6 m ³ × 2 槽 11 m ³ × 2 槽	6 槽	1 棟	1 m ³ × 2 槽 6 m ³ × 2 槽 5 m ³ × 1 槽 10 m ³ × 2 槽	
放流ポンプ	17.5 m ³ /min × 30kW 62.0 m ³ /min × 75kW	1 台 3 台		8.8 m ³ /min × 2 台 17.5 m ³ /min × 1 台 36.2 m ³ /min × 2 台	
放流渠	L=2,200m 2 条管 φ 1,500mm ~ φ 2,800mm	2,200m	2,200m	—	
汚泥濃縮タンク	φ 9.0m × 水深 4.0m φ 15.5m × 水深 4.0m	2 槽 2 槽	2 槽 1 槽	2 槽 1 槽	
機械濃縮	常圧浮上濃縮機 25kg・DS/m ² ・hr 8 m ²	4 台	1 棟	3 台	
脱水機	ベルトプレス ろ幅 3m ろ過速度 130kg/m/hr ろ過速度 160kg/m/hr	8 台	1 棟	5 台 1 台	
コンポスト	横型スクープ式 H2.0m × W3.0m × L20m	18 槽	—	—	
送風機設備	130 m ³ /min × 200kW 110 m ³ /min × 170kW	4 台 5 台 (内 1 台予備)	1 棟	65 m ³ /min × 1 台 130 m ³ /min × 2 台 150 m ³ /min × 1 台 15 m ³ /min × 2 台 90 m ³ /min × 2 台	
自家発電機	ディーゼルエンジン 900PS 発電機 750kVA	5 台	1 棟	3 台	

名称			形状区分	形状寸法	全体計画	平成25年度現在		
						土木建築	機械電気	摘要
砂ろ過設備				1,500 m ³ /D~2,250 m ³ /D	4基	—	3基	
中継ポンプ場	北勢	ポンプ		2.8 m ³ /min × 22kW	2台	マンホール	2台	
		予備発		60.0 KVA × 220V	1台		1台	
	員弁	ポンプ		0.67 m ³ /min × 5.5kW	2台	マンホール	2台	
	予備発		42.5 KVA × 220V	1台	1台			
	汰上	ポンプ		5.2 m ³ /min × 37kW	2台	1棟	2台	
				4.6 m ³ /min × 37kW	(内1台予備) 1台		3.3 m ³ /min × 1台 (22kW)	
		予備発		200 KVA × 420V	1台		1台	
幹線管渠				φ 2,000mm~φ 300mm	95.1km	93.4km	—	

(4) 設備概要

施設	設備	機器名	規格又は仕様	電気容量 (kW)	台数	
ス ク リ ー ン ポ ンプ棟	ス ク リ ー ン	流入ゲート	W1,200×H1,200 制水扉 電動式バルブコントローラ	5.5	4	
		粗目スクリーン	W2,200 有効目幅100mm 取付角度75度 フラットバースクリーン	—	4	
		細目スクリーン (自動除塵機)	ダブルエンドレスチェーン式 レーキスクリーン 掻揚速度 3m/min	2.2	4	
		No.1スクリーンかす搬出機	シャフトレススクリーユコンベヤ W280×L9.5m 能力4t/h	5.5	1	
	リ ン ポ ンプ棟	リ ン	し渣洗浄脱水機	スクリーユ洗浄式 W500×L5,500 能力3m ³ /h	5.5	2
			スクリーンかす スキップホイス	ワイヤーロープ式 10m/min×26m バケツ容量0.3m ³	2.2	1
		ン	スクリーンかす ホッパー	ロードセル2点方式 10m ³	2.2×2	1
			機器搬入用 チェーンブロック	3t×11m 手動式ギヤードトオリ	—	1
		備	角落とし用 チェーンブロック	1t×16m手動式ギヤードトオリ	—	1
			スカム分離機	回転ドラムスクリーン φ800×w500 3m ³ /min 目幅3mm	0.75	1
			弁操作用空気圧縮機	48L/min 7kg/cm ²	0.4	1
			ホイス	巻上横行軌条12m/min×25m 軌幅125mm	2.2 0.4	1 1
		臭 設 備	脱臭装置	薬液洗浄塔(酸アルカリ洗浄漏れ網スクラバー) 処理量105m ³ /min □1,200×H5,800×2塔	—	1式
			脱臭ファン	FRP製ターボファン 105m ³ /min×200mmAq	15	1
脱臭薬液循環ポンプ	350L/min×18m×400V		3.7	2		
薬液注入ポンプ	6~60L/min (硫酸用)		0.2	1		
	12~120L/min (苛性ソーダ用)		0.2	1		
薬液貯留槽	FRP製 1m ³		—	2槽		
	ポリエチレン製 2m ³		—	2槽		
薬液貯留槽攪拌機	375 rpm	0.2	2			
脱臭pH計	酸 アルカリ	—	2			
ポ ンプ棟 設 備	ポンプ井中間ゲート	W1,400×H1,400 手動制水扉	—	1		
	ポンプ井排水ポンプ用チェーン ブロック	1t×13m 手動式ギヤードトオリ	—	2		
	汚水吸入弁	手動式 φ500	—	2		
	汚水吸入弁	手動式 φ700	—	3		

施設	設備	機器名	規格又は仕様	電気容量 (kW)	台数	
スクリーンプンポンプ棟	ポンプ	汚水吐出弁	電動式バルブコントローラ φ500 (内手動仕切1)	2.2	2	
			電動式バルブコントローラ φ700	3.7	3	
	棟	汚水揚水ポンプ	立軸渦巻斜流ポンプ φ500 × 34.5m ³ /min	230.0	2	
			立軸渦巻斜流ポンプ φ700 × 69.0m ³ /min	450.0	1	
			立軸渦巻斜流ポンプ φ700 × 69.0m ³ /min	520.0	2	
	設備	床排水ポンプ	水中ポンプ φ50 × 0.2m ³ /min × 19m	2.2	2	
		天井クレーン	手動式 10t	—	1	
備	搬出入用チェーンブロック	10t × 32m 手動式ギヤードトオリ	—	1		
送風機棟	送風機	送風機	湿式空気ろ過器	140m ³ /min × 2.3m/s 回転油膜式	0.2	3
			乾式空気ろ過器	140m ³ /min × 2.4m/s 回転巻取式	0.2	2
			乾式空気ろ過器	140m ³ /min × 2.3m/s 回転巻取式	0.2	1
			乾式空気ろ過器	140m ³ /min × 2.3m/s 回転巻取式	0.2	1
	設備	送風機	送風機	15m ³ /min × 6,400mmAq × 1,740rpm ルーツブロワ	30.0	2
				65m ³ /min × 6,400mmAq × 17,865rpm ターボブロワ	110.0	1
				130m ³ /min × 6,400mmAq × 20,065rpm ターボブロワ	200.0	2
				150m ³ /min × 6,790mmAq × 18,717rpm ターボブロワ	230.0	1
				90m ³ /min × 6,900mmAq × 29,640rpm ターボブロワ	160.0	2
	備	送風機	送風機吐出弁	φ150 電動式仕切弁	0.4	2
				φ300 電動式仕切弁	0.4	4
φ250 電動式仕切弁				0.4	2	
備	冷却水ポンプ	0.3m ³ /min × 20m	2.2	2		
	天井クレーン	手動式 2.8t 手動式 3.4t	—	1 1		
水処理設備	最初沈殿	汚水流量計	電磁式 φ1,200 0~9,000m ³ /h	—	1	
			超音波式 φ800 0~4,000m ³ /h	—	1	
	池	初沈流入ゲート	W500 × H500 手動式	—	40	
			W600 × H800 手動式	—	8	
			パイパスゲート	W1,000 × H1,000 手動式制水扉 × 2台 W600 × H500 手動式制水扉 × 1台 W500 × H500 手動式制水扉 × 3台	— — —	6
	備	初沈汚泥掻寄機	フライト式ダブルチェーンコンベア0.6m/min (1連1駆動)	0.75 × 4	25	
			0.6m/min (2連1駆動)	1.5 × 2		
備	初沈汚泥掻寄機	(メイン)0.6m/min (4連1駆動)	0.4 × 4			
		(クロス)0.6m/min (1連1駆動)	0.4 × 4			
備	初沈汚泥掻寄機	0.6m/min (2連1駆動)	0.4 × 10			
		0.6m/min (4連1駆動)	0.4 × 1			
備	初沈スカムスキマー	空気作動回転式パイプスキマー φ300 × 8台	0.2 × 48	48		
		電動シリンダー式パイプスキマー φ300 × 40台				

施設	設備	機器名	規格又は仕様	電気容量 (kW)	台数
水 処 理 設 備	最 初 沈 殿 池 設 備	生汚泥引抜ポンプ	$\phi 100 \times 1\text{m}^3/\text{min} \times 10\text{m}$ (No.1、2)	3.7×2	8
			$\phi 100 \times 0.6\text{m}^3/\text{min} \times 14.5\text{m}$ (A41、42)	3.7×2	
			$\phi 100 \times 0.6\text{m}^3/\text{min} \times 13.7\text{m}$ (A21、22)	3.7×2	
			$\phi 100 \times 1.0\text{m}^3/\text{min} \times 15\text{m}$ (B-1)	5.5×2	
	生	生汚泥引抜弁	$\phi 200 \times 3.5 \sim 7\text{kg}/\text{m}^2$ 空気作動式偏心弁 $\times 28$ 台		36
			$\phi 150 \times 3.5 \sim 7\text{kg}/\text{m}^2$ 空気作動式偏心弁 $\times 8$ 台		
	池	初沈空気圧縮機	$8.5\text{kg}/\text{cm}^2 \times 240\text{L}/\text{min}$	2.2×2	6
			$8.5\text{kg}/\text{cm}^2 \times 600\text{L}/\text{min}$	5.5×2	
			$8.5\text{kg}/\text{cm}^2 \times 870\text{L}/\text{min}$	7.5×2	
	設 備	池排水ポンプ	$\phi 100 \times 1\text{m}^3/\text{min} \times 5\text{m}$ (NO.01、A41)	2.2×2	4
$\phi 100 \times 1\text{m}^3/\text{min} \times 7\text{m}$ (A21)			3.7×1		
$\phi 100 \times 1\text{m}^3/\text{min} \times 7\text{m}$ (B-1)	3.7×1				
理 物 反 應 槽 設 備	生	全量投入可動堰	w600 \times H400 手動式可動堰 $\times 20$	—	22
			W1500 \times H400 手動式可動堰 $\times 2$	—	
		ステップ投入可動堰	w600 \times H400 手動式可動堰	—	16
	物	返送汚泥投入可動堰	W500 \times H400 手動式可動堰 $\times 4$ 台	—	4
			エアレーションタンク 散気装置	80~100L/min枚 44組ステンレスホルダー付(1, 2系)	—
	好気槽 散気装置(A4、5系)	—		8池分	
	好気槽 散気装置(B系)	—		2池分	
	反	エアレーションタンク 消泡装置	8L/min 消泡可動式	—	22池分
			循環ポンプ	水中ポンプ $\phi 100 \times 1.7\text{m}^3/\text{min} \times 10.8\text{m}$	(A1,2系) 3.7×8
	$\phi 200 \times 4.6\text{m}^3/\text{min} \times 8.8\text{m}$	(A2,3系) 7.5×8			
$\phi 200 \times 5.1\text{m}^3/\text{min} \times 6.0\text{m}$	(A4,5系) 7.5×8				
陸上ポンプ $\phi 400 \times 14\text{m}^3/\text{min} \times 6.0\text{m}$	(B-1系) 30×3				
槽	風量空気調節弁	$\phi 300 \times 1.4 \sim 7\text{kg}/\text{cm}^2$ DC4~20mA(1, 2系)	—	4	
		$\phi 250 \times 1.4 \sim 7\text{kg}/\text{cm}^2$ DC4~20mA(A2から5系)	—	16	
		$\phi 300 \times 1.4 \sim 7\text{kg}/\text{cm}^2$ DC4~20mA(B-1系)	—	2	
設 備	反応タンク攪拌機	水中機械式攪拌機 可変速		108	
		A2, 3系 4台 \times 8池	2.2×32		
		A2, 3系 4台 \times 8池	3.7×32		
		A4, 5系 4台 \times 8池	2.2×32		
		槽外駆動式			
B-1系 嫌気槽	2.2×4				
B-1系 無酸素槽	3.7×8				

施設	設備	機器名	規格又は仕様	電気容量 (kW)	台数
水 処 理 池 設 備	最 終	終沈流入ゲート	W500×H500 手動式 W400×H400 手動式		48
		終沈汚泥掻寄機	チェーンフライト式ダブルチェーンコンベア 0.3m/min (1連1駆動) 0.3m/min (2連1駆動) (メイン)0.3m/min (4連1駆動) (クロス)0.3m/min (1連1駆動) 0.3m/min (2連1駆動) 0.3m/min (4連1駆動)	0.4×4 1.5×2 (A2,3系)0.4 ×4 (A2,3系)0.4 ×4 (A4,5系)0.4 ×8 (B-1系)0.4 ×2	24
	沈	終沈スカムスキマー	空気作動回転式パイプスキマー φ300×8台 電動シリンダー式パイプスキマー φ300×32台 電動シリンダー式パイプスキマー φ400×8台	(1,2系)0.2 ×8 (A2-5系) 0.2×32 (B-1系)0.2 ×8	48
		二次処理 水槽ゲート	W500×H500 手動式制水扉	—	2
	殿 池	余剰汚泥ポンプ	φ100×1m ³ /min×8m φ100×1m ³ /min×12m φ100×0.6m ³ /min×8m φ150×2m ³ /min×7m	3.7×2(A1 系) 5.5×2(A2,3 系) 5.5×3(A4,5 系) 5.5×2(B-1 系)	9
		返送汚泥ポンプ	φ150×2.7m ³ /min×11m φ150×2.9m ³ /min×11m φ190×8m ³ /min×8m φ250×9m ³ /min×9m φ300×11m ³ /min×13m	11×4 22×8 45×2	14
	設 備	池排水ポンプ	φ100×1m ³ /min×6m (NO.01) φ250×7m ³ /min×11m (B-1)	(1, 2系)2.2 ×1 (B-1系)22 ×1	2
		スカム移送ポンプ	φ100×1.8m ³ /min×15m (NO.01、02) φ150×3m ³ /min×8m (A21,A22) φ150×3m ³ /min×9m (A41,A42) φ100×1.25m ³ /min×9m (B-1)	(1,2系)11 ×2 (A2-5系)11 ×4 (B-1系)5.5 ×2	8
	滅 菌 設 備	終沈空気圧縮機	8.5kg/cm ² ×260L/min	2.2	2
		次亜塩貯留タンク液位計	次亜塩素酸ソーダ DC24V 4~20mA	—	5
		次亜塩貯留槽 (次亜塩素酸ソーダ)	FRP製 1m ³	—	2
			FRP製 6m ³	—	2
	PE製 5m ³		—	1	
		FRP製 10m ³	—	2	

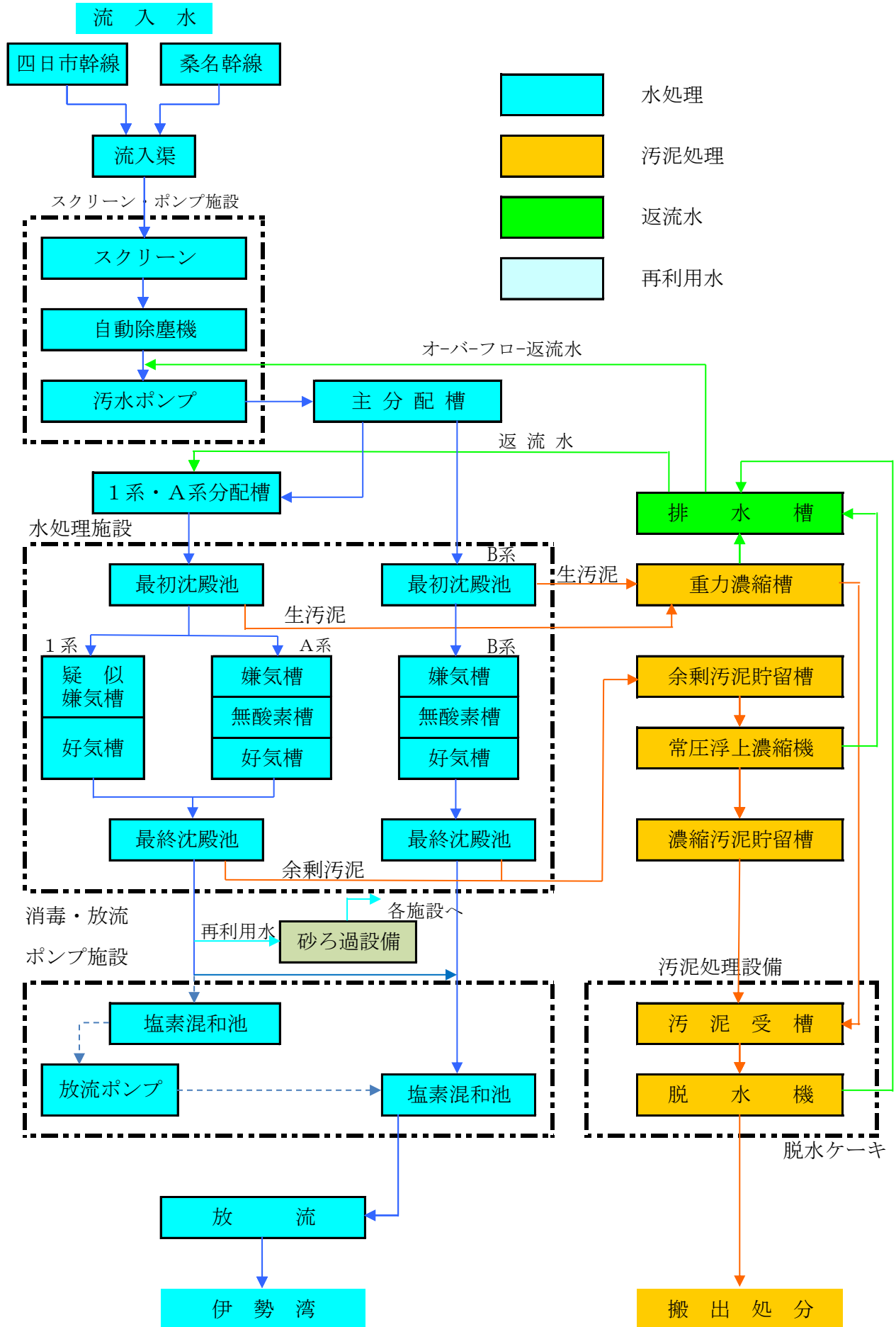
施設	設備	機器名	規格又は仕様	電気容量 (kW)	台数	
水	滅菌設備	次亜塩素酸注入ポンプ	0.103L/min × 0.5MPa	0.4	2	
			1.89L/min × 0.4MPa	0.4	1	
			2.58L/min × 0.4MPa	0.4	1	
			1.20L/min × 0.4MPa	0.2	2	
			4.4L/min × 0.3MPa	0.4	2	
			0.1L/min × 0.3MPa	0.2	1	
処理設備	放流設備	有機汚濁モニター	UV計	—	2	
		放流流量計	DVFM面速式	—	2	
		放流ポンプ井 流入ゲート	電動式バルブコントローラ	2.2	1	
		放流ゲート	電動式バルブコントローラ	2.2	1	
		放流ポンプ	水中ポンプ	φ 300 × 8.8m ³ /min × 5.7m	15.0	2
			立軸斜流	φ 350 × 17.5m ³ /min × 5.0m	30.0	1
			立軸斜流	φ 500 × 36.2m ³ /min × 5.0m	45.0	2
流量計	(返送汚泥流量計)AC100V電磁流量計 ポンプ用 反応槽	—	6			
PAC設備	PAC貯留槽	FRP製 15m ³	—	1		
		FRP製 3m ³	—	1		
		ポリエチレン製 10m ³ (A4、5系)	—	1		
		PE製 15m ³ (B系)	—	1		
	PACポンプ	2.62L/min × 3kg/cm ² (移送用)	0.4	2		
		270mL/min 電磁式 (PAC注入用)	0.024	8		
		2.62L/min × 0.3MPa (PAC注入用) (A4、5系)	0.4	2		
		0.03~1.49L/min × 0.2MPa (PAC注入用) (B系)	0.4	2		
砂ろ過棟	砂ろ過設備	二次処理水槽連通用弁	φ 400 手動仕切弁	—	2	
		二次処理水槽		—	1	
		砂ろ過原水ポンプ	φ 100 × 1.6m ³ /min × 17m	7.5	3	
			φ 150 × 1.6m ³ /min × 20m	11.0	1	
		原水ポンプ用ストレーナ	自動洗浄ストレーナ φ 150 × 1.6m ³ /min	—	3	
		砂ろ過逆洗ポンプ	φ 150 × 6.0m ³ /min × 18m	30.0	2	
		砂ろ過水槽		—	2	
		脱水機棟移送ポンプ	φ 200 × 4.9m ³ /min × 10m	11.0	2	
		砂ろ過器	φ 3,100 二層ろ過 処理量 1,500m ³ /日	—	3	
		除湿器		—	1	
		空気源装置	最高入口圧縮圧力9.5kg/cm ² 処理空気量830L/min	0.46	2	

施設	設備	機器名	規格又は仕様	電気容量 (kW)	台数		
汚泥濃縮設備	重	濃縮槽	コンクリート製 254m ³	—	2		
			コンクリート製 754m ³	—	1		
	濃	汚泥スクリーン	回転ドラムスクリーン 1m ³ /min × 目巾4mm	0.4	1		
		汚泥引抜ポンプ	スクリュウ型 φ200 × 1m ³ /min × 12m	5.5	2		
	縮	汚泥引抜弁	φ200 × 0.2MPa 空気作動式偏心弁	—	2		
		設	汚泥掻寄機	中央駆動懸重型 φ9m × 4m, 2~3m/min	0.4	2	
	中央駆動支柱型 φ15.5m × 4m, 2.94m/min			1.5	1		
備		スカム受カゴ搬出機用クレーン	自立型ジブクレーン 0.5t × 5m	—	2		
汚泥スクリーニング棟	重	汚泥スクリーン	スクリーン・脱水ユニット 2m ³ /min × 目巾2.5mm	1.9	1		
		汚泥スクリーンし渣ホツパ	鋼板製角型カットゲート式 7m ³	1.5 × 2	1		
		汚泥引抜ポンプ	一軸ネジ式 φ125 × 25~50m ³ /min × 20m	11.0	2		
		汚泥引抜切替弁	φ150 × 0.2MPa 電動式偏心構造弁	0.75	1		
		濃	汚泥分配可動堰	W400 × H400 手動式可動堰	—	1	
				W600 × H400 手動式可動堰	—	1	
		設	生汚泥受槽攪拌機	水中ミキサ式 槽寸法W2.3m × L2.925m × D4.4m	1.5	2	
			生汚泥移送ポンプ	吸込スクリュ付ポンプ φ100 × 0.6m ³ /min × 7.5m	2.2	2	
	備		床排水ポンプ	水中ポンプ φ65 × 0.3m ³ /min × 10m	1.5	2	
	棟	脱臭設備	脱臭ファン	FRP製ターボファン 0.31~0.93L/min × 0.4MPa	0.2	1	
			脱臭装置	カートリッジ式 20m ³ /min	—	1	
			カートリッジ吊上装置	1t × 5.5m 手動式チェーンブロック	—	1	
	機械濃縮棟	機	余剰汚泥貯留槽攪拌機	水中プロペラ式 容量100m ³	2.4	2	
汚泥破砕機			立軸2軸回転式(管設置型) φ250	3.7	1		
汚泥供給ポンプ			一軸ネジ式ポンプ φ150 × 25~67m ³ /h × 20m	22.0	3		
空気圧縮機			除湿器搭載型 600L/min × 8.5kg/cm ²	5.5	2		
械		凝集剤溶解槽	鋼板製円筒槽3.6m ³ ミキサー:立形プロペラ式	2.2	2		
		凝集剤供給機	可度連続定量供給機 0.15~1.0L/min	0.2	2		
濃		凝集剤注入ポンプ	一軸ネジ式ポンプ φ20 × 150~600L/h × 20m	0.4	3		
		起泡助剤希釈槽	鋼板型円筒槽(投入ホツパ式)900L ミキサー	0.1	2		
		起泡助剤注入ポンプ	ダイヤフラム式定量ポンプ φ15 × 167cc/min × 20m	0.2	3		
		浮上濃縮装置	常圧浮上濃縮装置 8m ²	9.2	3		
縮		脱気機	鋼板型円筒槽 2.4m ³	1.5	3		
		砂ろ過給水タンク	FRP製パネル式タンク 30m ³	—	1		
棟		設	砂ろ過給水ユニット	圧力タンク式 自動給水装置 0.65m ³ /min × 20m	5.5	1	
			濃縮汚泥貯留槽攪拌機	立型パドル式 50m ³ × 2槽	3.7	4	
		備		濃縮汚泥移送ポンプ	一軸ネジ式ポンプ φ150 × 60m ³ /h × 20m	22.0	2

施設	設備	機器名	規格又は仕様	電気容量 (kW)	台数	
汚泥脱水機棟	汚	汚泥切替弁	空気作動偏心構造弁 $\phi 150$	—	2	
			空気作動偏心構造弁 $\phi 200$	—	2	
	泥	薬品コンテナ	薬品コンテナ	角形コンテナホツパ 0.5m^3	—	8
			薬品定量フィーダー	可変式容積形定量供給庫 $0.25\sim 1.0\text{L}/\text{min}$	0.4	4
	脱	薬液供給ポンプ	薬品溶解タンク	鋼板製立形円筒槽 $\phi 2.5\text{m} \times 2.5\text{H} \times 10\text{m}^3$	5.5	4
			薬液供給ポンプ	一軸ネジ式ポンプ $\phi 50 \times 4\text{m}^3/\text{h} \times 13\text{mH}$	1.5	6
	水	汚泥受槽攪拌機	立軸バドル式 攪拌容量 約 70m^3 以上	15.0	2	
				5.5	2	
	機	汚泥供給ポンプ	一軸ネジ式ポンプ $\phi 100 \times 20\text{m}^3/\text{h} \times 23\text{mH}$	5.5	4	
			一軸ネジ式ポンプ $\phi 100 \times 15\text{m}^3/\text{h} \times 21\text{mH}$	5.5	2	
	棟	ケーキ搬出機	ベルトプレス(高効率形)ろ布巾 $3.0\text{m} \ 130\text{kg-ds}/\text{m}\cdot\text{h}$	7.4	4	
				5.7	1	
			8.2	1		
		20° トラフ3ローラベルトコンベア W600×L24500	0.75	1		
		スクリューコンベヤ(シャフトレス) $\phi 315 \times 8.1\text{m}^3/\text{h} \times \text{L}25000$	7.5	1		
		ケーキホツパ	鋼板製電動式 15m^3	3.7	2	
汚泥脱水機棟	汚泥脱水設備	ろ布洗浄水ポンプ	片吸込渦巻ポンプ $80\text{A} \times 0.9\text{m}^3/\text{min} \times 70\text{mH}$	18.5	5	
			高圧洗浄ポンプ $0.13\text{m}^3/\text{min} \times 5\text{MPa}$	15.0	1	
	排水槽攪拌機	立軸バドル式 90m^3	11.0	2		
		立軸バドル式 90m^3	7.5	2		
	返流水ポンプ	スクリュー遠心形汚泥ポンプ $\phi 100 \times 1.5\text{m}^3/\text{min} \times 16\text{mH}$	7.5	4		
	高架水槽	角形パネルタンク 20m^3	—	2		
	高架水槽揚水ポンプ	片吸込渦巻ポンプ $150\text{A} \times 3.5\text{m}^3/\text{min} \times 28\text{mH}$	30.0	2		
	水脱臭設備	生物脱臭装置	充填式生物脱臭塔 $110\text{m}^3/\text{min}$	—	1	
		ミストセパレータ	慣性衝突形 $110\text{m}^3/\text{min}$	—	1	
		脱臭ファン	ターボファン $55\text{m}^3/\text{分} \times 200\text{mmAq}$	7.5	2	
		No.2薬液貯留槽(苛性ソーダ)	FRP製円筒タンク 1m^3	0.2	2	
		苛性ソーダ注入ポンプ	流量可変定量ダイヤフラムポンプ $15\text{A} \times 12\sim 120\text{cc} \times 10\text{kg}/\text{cm}^2$	0.2	1	
活性炭吸着塔		カートリッジ式 $55\text{m}^3/\text{分}$	—	2		
土壌脱臭設備	脱臭ファン	片吸込ターボファン $80\text{m}^3 \times 150\text{mmAq}$	(1系,A2系) 5.5×4	10		
		片吸込ターボファン $90\text{m}^3 \times 1.47\text{kpa}$	(A3系,A4系、 5系) 5.5×6			
	脱臭床給水ポンプ	片吸込渦巻ポンプ $40\text{A} \times 0.2\text{m}^3/\text{min} \times 22\text{m}$	(1系-A4系) 2.2×2	2		
	ストレーナ	自動洗浄ストレーナ $50\text{A} \times 0.2\text{m}^3/\text{min}$	(1系-A4系) 0.4	1		

施設	設備	機器名	規格又は仕様	電気容量(kW)	台数
土壌脱臭設備	土壌脱臭設備	排水ポンプ	水中汚水ポンプ 65A×0.34m ³ /min×10m	(1系,A2系) 2.2×2	2
			水中汚水ポンプ 65A×0.57m ³ /min×7m	(A3系,A4系) 2.2×2	2
	土壌脱臭床	80m ³ /min 190m ² ×4床 (1系、A2系)	—	2	
		90m ³ /min 190m ² ×6床 (A3、A4、A5系)	—	3	
汰上ポンプ場	スクリーニング設備	流入ゲート	W500×H600 鑄鉄製制水扉 電動式バルブコントローラ	1.5	2
		粗目スクリーン	W700 有効目幅100mm 取付角度60度 フラットバースクリーン	—	2
		破砕機	水路設置型 8.4m ³ /min	3.7	1
			水路設置型 5.85m ³ /min	3.7	1
	流出設備	流出ゲート	W500×H600 鑄鉄製制水扉 手動式	—	2
		搬出用ホイスト	2t×18m	3.7	1
			電動横行ホイスト	0.4	—
	破砕機用チェーンブロック	1t×9m ギヤードトオリ	—	1	
	脱臭設備	脱臭装置	活性炭吸着塔 処理量20m ³ /min □1,400×H2,650×1塔	—	1
		脱臭ファン	ターボファン 20m ³ /min×180mmAq	1.5	1
		脱臭装置用チェーンブロック	0.5t×4.5m ギヤードトオリ	—	1
	ポンプ場	仕切弁	汚水ポンプ用仕切弁 φ200	—	2
			手動外ねじ仕切弁 φ150	—	1
		汚水ポンプ	着脱式水中ポンプ φ200×5.2m ³ /min×24m	37	2
			着脱式水中ポンプ φ150×3.3m ³ /min×22m	22	1
		ポンプ井攪拌機	水中形 9.0m ³ /min	2.4	1
水中形 4.9m ³ /min			1.5	1	
ポンプ井仕切ゲート		□550 鑄鉄製手動制水扉	—	1	
圧送管仕切弁	手動外ねじ仕切弁 φ500	—	1		
	ポンプ用チェーンブロック	2t×5m ギヤードトオリ	—	1	
自家発電設備	自家発電機	発電機200kVA×420V×60Hz ディーゼル機関220kW(300PS)	200(kVA)	1	
北勢幹線マンホールポンプ場	除塵カゴ	1000×500×210 ステンレス製	—	1	
	汚水ポンプ用仕切弁	手動弁 φ150	—	2	
	汚水ポンプ	着脱式水中ポンプ φ150×2.8m ³ /min×22.8m	22	2	
	自家発電機	発電機60kVA×220V×60Hz ディーゼル機関59.6kW(81PS)	60(kVA)	1	
員弁川幹線マンホールポンプ場	汚水ポンプ用仕切弁	手動ボール弁 80A	—	2	
	汚水ポンプ	着脱式水中ポンプ φ80×0.67m ³ /min×13.4m	5.5	2	
	自家発電機	発電機42.5kVA×220V×60Hz ディーゼル機関44.9kW(61PS)	42.5(kVA)	1	

(5) 水処理フローシート(北部浄化センター)



(6) 水質管理状況

ア 水質管理状況の概況

(ア) 流入水量

平成25年度における日平均流入水量は、91,177 m^3 /日で、平成24年度の92,039 m^3 /日と比較すると、862 m^3 /日の減少であった。過去5年間の流入水量の変動は、平成19年度から平成20年度は、3,697 m^3 /日の増加、平成20年度から平成21年度は1,847 m^3 /日の増加、平成21年度から平成22年度は635 m^3 /日の増加、平成22年度から平成23年度は4,344 m^3 /日の増加、平成23年度から平成24年度は1,528 m^3 /日の増加であった。

(イ) 流入水質(BOD、COD、SS、T-N、T-P、健康項目、ダイオキシン類)

平成25年度における平均流入水質について、BOD濃度は180 mg/L (過去5年間年平均値170mg/L)、COD濃度は100 mg/L (過去5年間年平均値94 mg/L)、SS濃度は200 mg/L (過去5年間年平均値190mg/L) と過去5年間の年平均値を上回った。全窒素濃度は26 mg/L (過去5年間年平均値27 mg/L)、全りん濃度は3.1 mg/L (過去5年間年平均値3.2 mg/L) と過去5年間の年平均値を下回った。

健康項目については、アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物濃度は7.3mg/L (過去5年間年平均値7.7mg/L) と過去5年間の年平均値を下回った。その他の健康項目は年間を通じて、報告下限値未満であった。ダイオキシン類濃度は、0.37pg-TEQ/L (過去5年間年平均値0.28pg-TEQ/L) と過去5年間の年平均値を上回った。

(ウ) 放流水質 (A系) (平成25年4月1日～平成26年1月21日) (BOD、COD、SS、T-N、T-P、健康項目、ダイオキシン類)

平成25年度における平均処理水質について、BOD濃度は1.4 mg/L (過去5年間年平均値1.8 mg/L)、COD濃度は6.8 mg/L (過去5年間年平均値7.1 mg/L)、全窒素濃度は6.8 mg/L (過去5年間年平均値7.0mg/L) と過去5年間の年平均値を下回った。またSS濃度は2 mg/L (過去5年間年平均値2 mg/L)、全りん濃度は0.5 mg/L (過去5年間年平均値0.5 mg/L) と過去5年間の年平均値と同じであった。

健康項目については、アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物濃度は、6.1mg/L (過去5年間年平均値6.0mg/L) と過去5年間の年平均値を上回った。その他の健康項目は、10ヵ月間を通じて報告下限値未満であった。ダイオキシン類濃度は、0.00015pg-TEQ/L (過去5年間年平均値0.00119pg-TEQ/L) と過去5年間の年平均値を下回った。

(注) 放流水質の過去5年間平均値とは、平成20年度から平成24年度までの各年度の平均値であり、平成23年度、24年度については、平成23年10月よりB系が運転を開始したため、A系とB系との加重平均値を各月の平均値として年平均値を算出している。平成26年1月22日以降は、A系B系合流後に計測しており、後段(オ)に記載。

(エ) 放流水質 (B系) (平成25年4月1日～平成26年1月21日) (BOD、COD、SS、T-N、T-P、健康項目、ダイオキシン類)

B系処理施設は平成23年10月中旬より運転を始めた。平成25年度における平均

処理水質について、BOD濃度は1.4 mg/L（過去5年間年平均値1.8 mg/L）、全りん濃度は0.4 mg/L（過去5年間年平均値0.5mg/L）と過去5年間年平均値を下回り、COD濃度は7.1 mg/L（過去5年間年平均値7.1mg/L）、SS濃度は2 mg/L（過去5年間年平均値2 mg/L）、全窒素濃度は7.0 mg/L（過去5年間年平均値7.0mg/L）と過去5年間の年平均値と同じであった。

健康項目については、アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物濃度は、6.8mg/L（過去5年間年平均値6.0mg/L）と過去5年間の年平均値を上回った。その他の健康項目は、10ヵ月間を通じて報告下限値未満であった。ダイオキシン類濃度は、0.00014pg-TEQ/L（過去5年間年平均値0.00119pg-TEQ/L）と過去5年間の年平均値を下回った。

(オ) 放流水質（A系B系合流後）（平成26年1月22日～平成26年3月31日）（BOD、COD、SS、T-N、T-P、健康項目）

平成25年度における平均処理水質について、全りん濃度は0.4 mg/L（過去5年間年平均値0.5mg/L）と過去5年間年平均値を下回った。またBOD濃度は3.4 mg/L（過去5年間年平均値1.8 mg/L）、COD濃度は7.9 mg/L（過去5年間年平均値7.1mg/L）、SS濃度は3 mg/L（過去5年間年平均値2 mg/L）、全窒素濃度は7.9 mg/L（過去5年間年平均値7.0mg/L）と過去5年間の年平均値を上回った。

健康項目については、アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物濃度は、7.6mg/L（過去5年間年平均値6.0mg/L）と過去5年間の年平均値を上回った。その他の健康項目は、2ヵ月間を通じて報告下限値未満であった。

(カ) 放流先の環境保全に係る運転管理

窒素、りん対策のため、平成9年度からは、標準活性汚泥法による既存施設を疑似嫌気好気法に施設改良して運転を行い、平成10年度からは、嫌気-無酸素-好気法による施設を増設し運転を行っている。さらに平成23年10月より新たにB系処理施設の運転を開始した。

放流先の環境保全に寄与するため、下記5項目について、排水基準値よりも厳しい自主管理目標値を設定しており、A系放流水の水質については、自主管理目標値以下であった。

B系放流水の水質については、COD濃度及びSS濃度が、10月9日のB系塩素混和池の建設作業において、工事現場の溜まり水を誤って排出した時に自主管理目標値を超えた。（COD濃度17mg/L、SS濃度34mg/L）

それ以外は自主管理目標値以下であった。

A系B系合流後（1月22日以降）の水質については、自主管理目標値以下であった。

法令等に基づく基準値及び自主管理目標値

項目	基準値	自主管理目標値
BOD (mg/L)	15以下	8以下
COD (mg/L)	25(20)以下	12以下
SS (mg/L)	40以下	10以下
全窒素 (mg/L)	13以下	10以下
全りん (mg/L)	1.4以下	1.2以下
pH (—)	5.8～8.6	5.8～8.6

備考：基準値は下水道法の水質基準。ただし、CODは水質汚濁防止法に基づく三重県条例の上乗せ基準で、() 値は日間平均値

イ 月別水質管理状況

4月

降雨量は140.5mm、月平均流入水量は93,272m³/日であり、3月と比べて7,660m³/日増加した。

最大流入水量は24日の139,492m³/日であった。同日の降雨量が47.0mm/日あり、24日、25日の流入水量の合計は253,570m³であった。そのため最初沈殿池の空池に貯留し、さらに流入ゲート操作による管内貯留を実施した。大雨による水処理悪化はPAC注入により対応した。

月内の大腸菌群数は、A系が最高210個/cm³、平均68個/cm³であった。B系が最高110個/cm³、平均64個/cm³であった。消毒用の次亜塩素酸ソーダの注入率は1日にA系、B系ともに0.1mg/Lから0.5mg/Lに変更し運用した。水処理は、おおむね良好であった。

5月

降雨量は51.0mm、月平均流入水量は89,815m³/日であり、4月と比べて3,457m³/日減少した。最大流入水量は29日の103,406m³/日であった。

大腸菌群数は、A系は最高190個/cm³、平均130個/cm³であった。B系は最高140個/cm³、平均110個/cm³であった。消毒用の次亜塩素酸ソーダの注入率は、30日にA系、B系ともに0.5mg/Lから0.9mg/Lに変更した。水処理は、おおむね良好であった。

6月

降雨量158.5mm、月平均流入水量は93,792m³/日であり、5月と比べて3,977m³/日増加した。21日、26日、流入水量の増加により、最初沈殿池の空池に貯留した。最大流入水量は26日の148,689m³/日であった。

大腸菌群数は、A系は最高100個/cm³、平均46個/cm³であった。B系は最高94個/cm³、平均54個/cm³であった。消毒用の次亜塩素酸ソーダの注入率は、A系B系とも0.9mg/Lで運用した。水処理は、おおむね良好であった。

7月

降雨量は117.5mm、月平均流入水量は91,364m³/日であり、6月と比べて2,428m³/

日減少した。最大流入水量は4日の101,012m³/日であった。

大腸菌群数は、A系は最高120個/cm³、平均64個/cm³であった。B系は最高160個/cm³、平均110個/cm³であった。消毒用の次亜塩素酸ソーダの注入率はA系B系ともに0.9mg/Lで運用した。

省エネ対策としてA5系反応槽の嫌気・無酸素槽の間欠攪拌を16日より実施した。水処理はおおむね良好であった。間欠攪拌は、1日6サイクルに分け、各4時間のうち30分攪拌し、3時間30分を攪拌停止している。

8月

降雨量は56.5mm、月平均流入水量は86,846m³/日であり、7月と比べて4,518m³/日減少した。最大流入水量は7日の91,727 m³/日であった。

大腸菌群数は、A系は最高57個/cm³、平均40個/cm³であった。B系は最高180個/cm³、平均62個/cm³であった。消毒用の次亜塩素酸ソーダの注入率は0.9mg/Lで運用した。水処理は、おおむね良好であった。

9月

降雨量は191.0mm、月平均流入水量は99,020m³/日であり、8月と比べて12,174m³/日増加した。16日台風18号の接近に伴い流入水量が増加したため、最初沈殿池の空池に貯留しかつ流入ゲートの操作を行い、管内貯留を実施した。しかしさらに流入水量が増加したため、併用処理を実施した。最大流入水量は16日の253,926 m³/日であった。

大腸菌群数は、A系は最高200個/cm³、平均61個/cm³であった。B系は最高100個/cm³、平均27個/cm³であった。消毒用の次亜塩素酸ソーダの注入率は0.9mg/Lで運用した。水処理は、おおむね良好であった。

10月

降雨量は196.5mm、月平均流入水量は95,907m³/日であり、9月と比べて3,113m³/日減少した。最大流入水量は16日の162,182m³/日であった。台風26号の接近に伴う降雨により、流入水量が増加したため、初沈空池に貯留した。

大腸菌群数は、A系は最高260個/cm³、平均180個/cm³であった。B系は最高210個/cm³、平均160個/cm³であった。1日から放流水の残留塩素濃度を低減させるため消毒用の次亜塩素酸ソーダの注入率を0.9 mg/Lから0.1mg/Lに変更した。水処理は、おおむね良好であった。

11月

降雨量は41.0mm、月平均流入水量は89,051m³/日であり、10月と比べて6,856m³/日減少した。最大流入水量は4日の98,757m³/日であった。

大腸菌群数は、A系が最高290個/cm³、平均200個/cm³であった。B系が最高210個/cm³、平均120個/cm³であった。消毒用の次亜塩素酸ソーダの注入率は0.1mg/Lで運用した。水処理は、おおむね良好であった。

1 2月

降雨量は50.0mm、月平均流入水量は88,297m³/日であり、11月と比べて754m³/日減少した。最大流入水量は19日の105,642m³/日であった。

近年、年末年始の窒素流入負荷の増加により、放流水の水質が悪化する傾向にあるが、この予防措置として負荷を減少させることを目的として28日から次の対策を実施した。最初沈殿池の未使用池に雑用水を溜め、その水をオーバーフローさせることにより流入負荷を減少させた。また汚泥の脱水作業終了後の負荷の少ない、ろ布洗浄水を継続して返流水としてスクリーンポンプ棟へ送った。また汚泥返送率を5%上げて脱窒に努めた。

さらに省エネ対策の一環として実施していた反応槽攪拌機の間欠運転を中止し、連続運転に変更した。さらにA系、B系反応槽の目標DO濃度を1.8mg/L以上、目標MLSS濃度を2,200mg/L以上になるように運転した。これにより31日まで全窒素、全りん濃度上昇は見られなかった。大腸菌群数はA系で最高200個/cm³、平均100個/cm³であった。B系は最高280個/cm³、平均140個/cm³であった。消毒用の次亜塩素酸ソーダの注入率は0.1mg/Lで運用した。水処理は、おおむね良好であった。

1月

降雨量は27.0mm、月平均流入水量は86,657m³/日であり、12月と比べて1,640m³/日減少した。最大流入水量は23日の100,017m³/日であった。12月28日から引き続いて窒素濃度対策を実施した。放流水悪化の予防措置のうち、流入水負荷軽減のために行っていた汚泥脱水終了後のろ布洗浄水のスクリーンポンプ棟への送水及び最初沈殿池未使用池からの返流水のオーバーフローを5日に停止した。塩素混和池が竣工したため、1月21日からA系とB系の放流水を合流させた。

大腸菌群数はA系で最高88個/cm³、平均73個/cm³であった。B系で最高82個/cm³、平均45個/cm³であった。A系B系合流後は最高94個/cm³、平均67個/cm³であった。消毒用の次亜塩素酸ソーダの注入率は0.1mg/Lで運用した。水処理は全窒素濃度が、A系がやや高かったが、他はおおむね良好であった。

2月

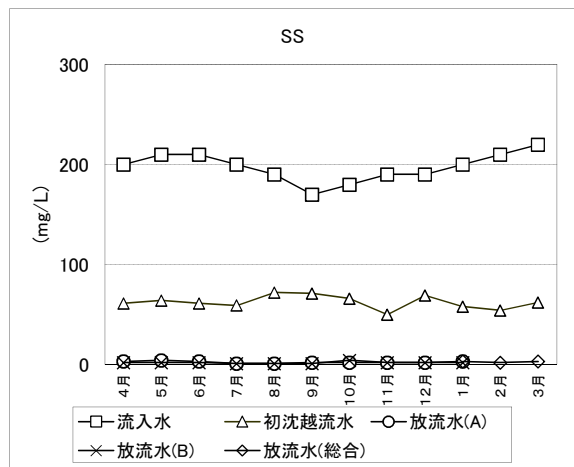
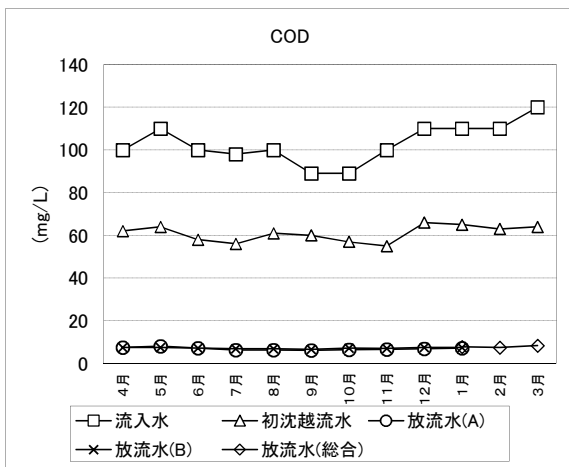
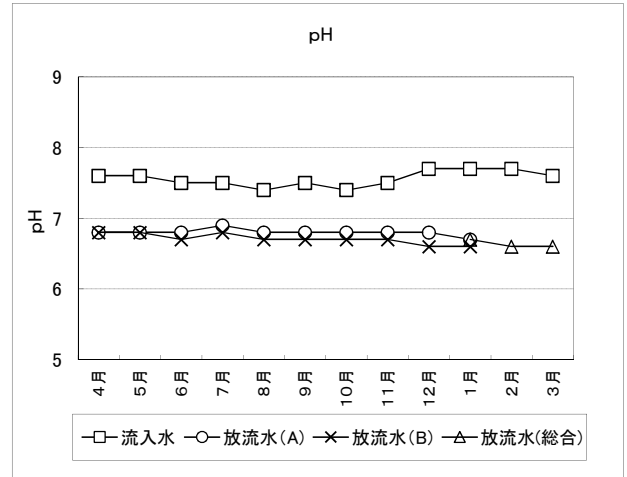
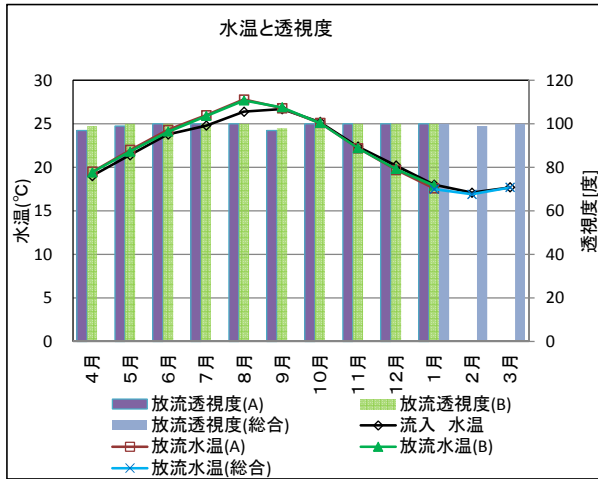
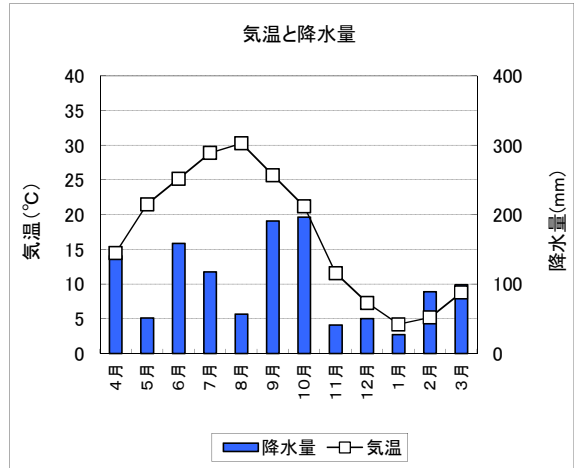
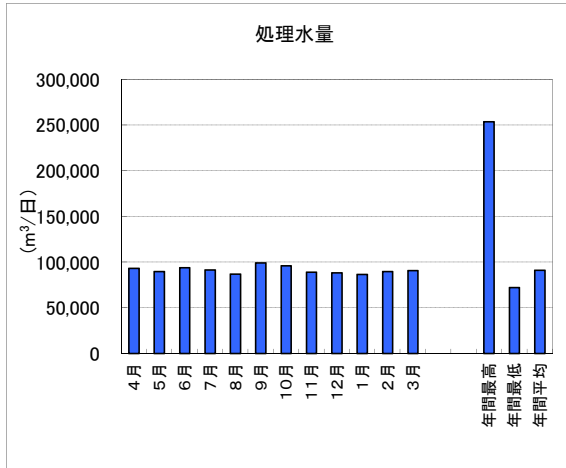
降雨量は89.0mm、月平均流入水量は89,583m³/日で、1月と比べて2,926m³/日増加した。

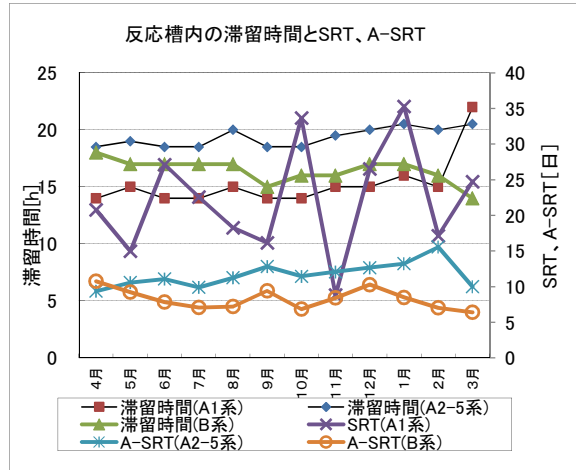
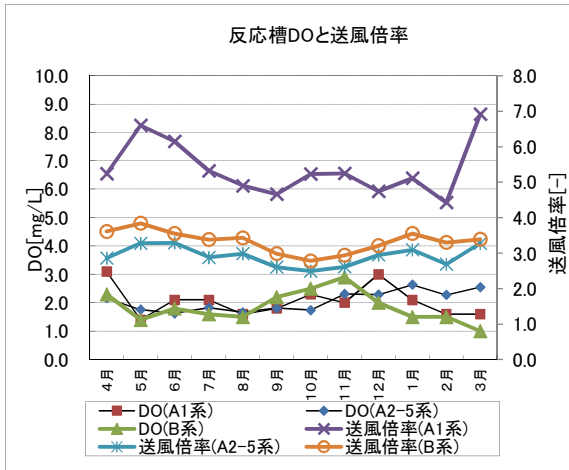
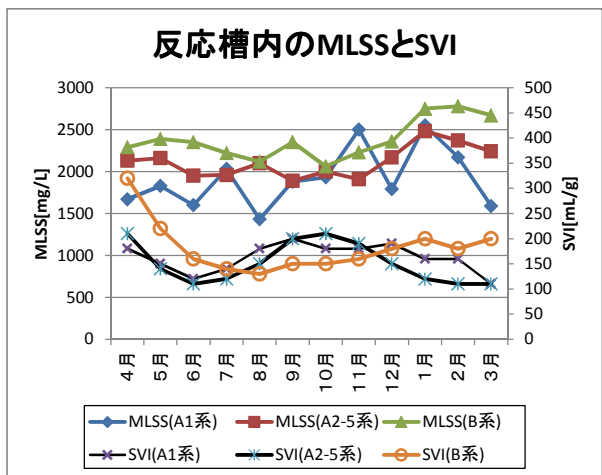
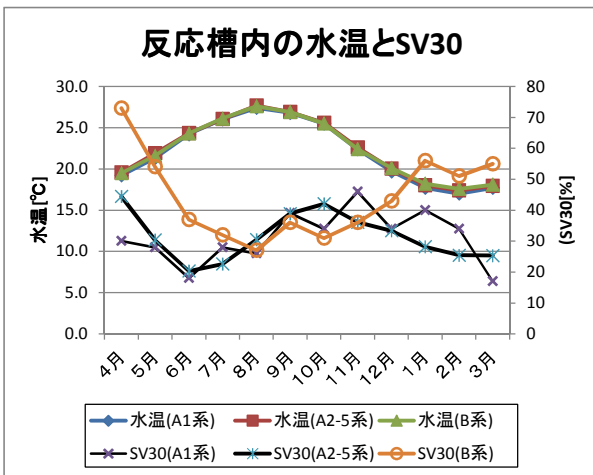
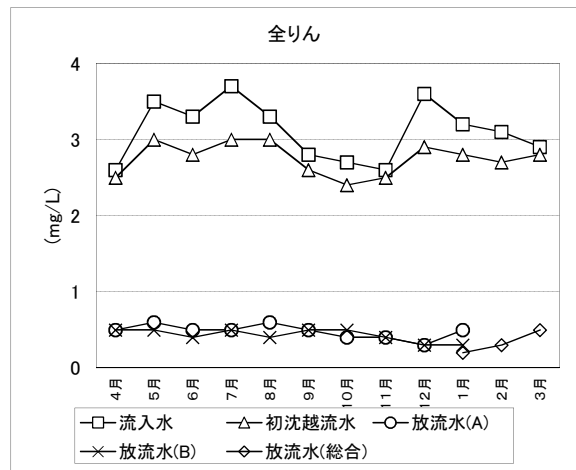
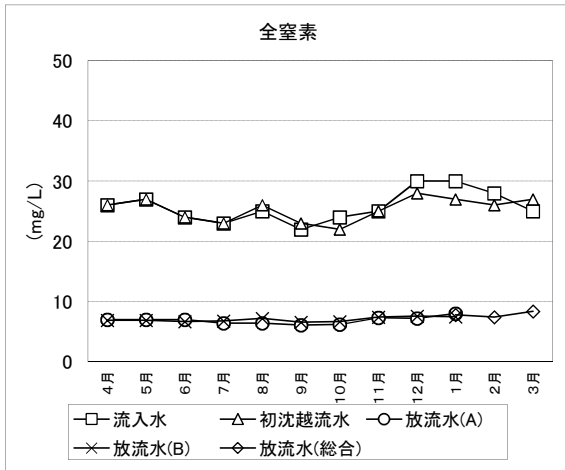
最大流入水量は15日の120,316m³/日であった。大腸菌群数は最高77個/cm³、平均56個/cm³であった。消毒用の次亜塩素酸ソーダの注入率は0.1mg/Lで運用した。水処理は、おおむね良好であった。

3月

降雨量は99.0mm、月平均流入水量は90,707m³/日であり、2月と比べて1,124m³/日増加した。最大流入水量は30日の108,217 m³/日であった。

大腸菌群数は、最高210個/cm³、平均150個/cm³であった。消毒用の次亜塩素酸ソーダの注入率は0.1mg/Lで運用した。3月3日から耐震工事のためA22、A23、A24の反応槽の運転を休止し、No21、A34、A44の反応槽の運転を開始した。





備考

1. 各月のデータは、その月平均値。
2. 年間最高値は、年間の総データの最高値。
3. 年間最低値は、年間の総データの最低値。
4. 年間平均値は、月間平均値の平均値。
5. ただし、降水量の各月のデータは、日降水量の累積値で、年間値は日降水量の値。
6. 平成26年1月22日より、A系とB系の放流水が合流し、放流水（総合）の1本となった。

(7) 污水处理水量

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	備考
污水处理水量	流入水量 [m ³]	2,798,146	2,784,271	2,813,747	2,832,288	2,692,218	2,970,610	2,973,107	2,671,531	2,737,193	2,686,356	2,508,330	2,811,930	33,279,727	—
	日平均流入水量 [m ³ /日]	93,272	89,815	93,792	91,364	86,846	99,020	95,907	89,051	88,297	86,657	89,583	90,707	—	年平均 91,177
	日最大流入水量 [m ³ /日]	139,492	103,406	148,689	101,012	91,727	253,926	162,182	98,757	105,642	100,017	120,316	108,217	—	年最大 253,926
	晴天日流入水量 [m ³]	1,868,611	2,223,061	1,960,011	1,982,473	2,073,404	1,937,201	2,058,216	2,128,809	2,262,177	2,336,597	1,923,411	1,787,836	24,541,807	—
	晴天日日数 [日]	21	25	22	22	24	21	23	24	26	27	22	20	277	—
	晴天日平均 [m ³ /日]	88,981	88,922	89,091	90,112	86,392	92,248	89,488	88,700	87,007	86,541	87,428	89,392	—	年平均 88,599
	晴天日最大 [m ³ /日]	114,078	93,859	101,436	96,223	91,727	111,632	106,948	92,480	102,381	100,017	93,220	99,614	—	年最大 114,078
	晴天日(雨天影響を除く)流入水量 [m ³]	954,928	1,496,121	1,219,425	1,159,855	1,452,150	1,159,239	1,201,629	1,232,527	1,534,806	1,893,045	1,206,103	614,834	15,124,662	—
	晴天日(雨天影響を除く)日数 [日]	11	17	14	13	17	13	14	14	18	22	14	7	174	—
	晴天日(雨天影響を除く)平均 [m ³ /日]	86,812	88,007	87,102	89,220	85,421	89,172	85,831	88,038	85,267	86,048	86,150	87,833	—	年平均 86,923
	晴天日(雨天影響を除く)最大 [m ³ /日]	92,527	91,467	91,252	94,348	89,173	96,036	93,543	91,527	88,994	100,017	89,537	99,614	—	年最大 100,017
	雨天日流入水量 [m ³]	929,535	561,210	853,736	849,815	618,814	1,033,409	914,891	542,722	475,016	349,759	584,919	1,024,094	8,737,920	—
	雨天日日数 [日]	9	6	8	9	7	9	8	6	5	4	6	11	88	—
	雨天日平均 [m ³ /日]	103,282	93,535	106,717	94,424	88,402	114,823	114,361	90,454	95,003	87,440	97,487	93,099	—	年平均 99,295
	雨天日最大 [m ³ /日]	139,492	103,406	148,689	101,012	90,796	253,926	162,182	98,757	105,642	94,039	120,316	108,217	—	年最大 253,926
	返流水量 [m ³]	97,178	100,976	117,599	120,571	121,226	114,954	119,559	114,753	100,299	72,340	84,502	95,129	1,259,086	年平均 3,450
	放流水量 [m ³]	2,704,158	2,688,956	2,732,397	2,774,993	2,601,567	2,892,593	2,843,594	2,591,352	2,597,181	2,625,976	2,325,836	2,794,804	32,173,407	—
日平均放流水量 [m ³ /日]	90,139	86,741	91,080	89,516	83,922	96,420	91,729	86,378	83,780	84,709	83,066	90,155	—	年平均 88,146	
日最大放流水量 [m ³ /日]	126,273	100,414	138,728	100,488	91,109	229,893	151,130	94,476	100,259	108,245	113,339	109,393	—	年最大 229,893	
再生利用水 [m ³]	85,648	89,216	82,226	82,710	88,266	80,447	86,505	79,136	85,067	92,385	73,441	84,886	1,009,933	—	

(8) 電力・水道・薬品・燃料

項 目		月												計	日平均
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
薬品・水処理	次亜塩素酸ナトリウム（放流水）【kg】	11,283	11,386	19,328	19,464	19,080	20,989	2,097	2,333	2,481	2,832	3,872	4,647	119,792	328
	次亜塩素酸ナトリウム（急速ろ過）【kg】	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	次亜塩素酸ナトリウム（再生水）【kg】	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ポリ塩化アルミニウム【kg】	34,620	31,590	44,540	49,370	51,670	57,120	63,920	55,370	46,700	68,820	46,700	37,700	588,120	1,611
薬品・汚泥処理	高分子凝集剤（浮上濃縮用）【kg】	540.0	495.0	480.0	480.0	465.0	450.0	540.0	495.0	465.0	435.0	525.0	570.0	5,940	16
	高分子凝集剤（汚泥脱水用）【kg】	2,715.0	2,475.0	2,340.0	2,280.0	1,965.0	1,830.0	2,115.0	2,160.0	2,310.0	2,385.0	2,070.0	2,520.0	27,165	74
	ポリ硫酸第2鉄【kg】	56,714.20	54,434.30	49,765.50	51,522.40	48,999.90	40,670.70	44,567.50	43,344.60	41,051.40	42,005.60	37,150.00	47,072.50	557,298.60	1526.85
	消臭剤【kg】	6,326.50	6,877.00	7,217.80	8,299.10	8,835.70	7,977.40	7,026.10	6,368.20	4,625.60	4,197.40	4,025.30	4,532.70	76,308.80	209.07
	起泡助剤【kg】	234.00	234.00	270.00	249.00	234.00	180.00	198.00	180.00	216.00	234.00	216.00	288.00	2733.00	7.49
薬品・脱臭	硫酸【kg】	20	310	420	30	40	140	0	40	10	50	30	0	1,090	3
	苛性ソーダ【kg】	160	40	10	0	0	530	70	90	140	60	50	10	1,160	3
	電力【kWh】	1,381,480	1,408,900	1,368,470	1,366,670	1,406,660	1,391,240	1,395,660	1,276,980	1,321,920	1,332,120	1,194,220	1,351,180	16,195,500	44,371
	水道【m ³ 】	193	174	182	190	185	187	193	209	208	183	134	155	2,193	6
	重油【kg】	99	23	25	21	28	26	26	25	323	2,205	31	31	2,863	8
	軽油【kg】	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	灯油【kg】	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(9) 汚泥脱水処理

項 目		月												計	日平均
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
汚泥脱水処理	脱水処理量【m ³ 】	12,061.8	12,673.8	13,639.1	14,581.4	14,070.9	12,345.2	13,236.9	12,365.7	12,191.0	12,570.4	10,829.4	13,427.0	153,992.6	421.9
	濃縮汚泥濃度日平均【%】	4.11	4.13	3.28	3.41	3.29	3.54	3.46	3.82	4.02	4.06	4.18	4.06	—	年平均 3.78
	脱水機運転時間【h:m】	1383:35	1396:58	1386:16	1428:35	1424:02	1318:36	1423:00	1361:14	1345:59	1386:32	1274:33	1614:11	16743:31	45:52
	ケ一キ発生量【t】	1,610.70	1,638.30	1,461.00	1,507.70	1,421.70	1,376.40	1,496.60	1,464.90	1,543.80	1,617.00	1,544.50	1,857.40	18,540.00	50.79
	ケ一キ含水率日平均【%】	74.2	74.3	74.0	73.3	73.6	73.9	73.8	73.0	72.9	73.0	73.8	73.4	—	年平均 73.6
しき	しき発生量【t】	15.84	13.22	11.17	9.46	7.58	10.24	13.24	13.66	14.98	16.79	15.57	14.72	156.47	0.43
	汚泥処分量計【t】	1,741.89	1,760.62	1,570.89	1,623.00	1,525.36	1,480.83	1,576.62	1,528.11	1,602.32	1,708.57	1,597.22	1,925.32	19,640.75	53.81
	セメント原料化【t】	1,741.89	1,760.62	1,570.89	1,623.00	1,525.36	1,480.83	1,576.62	1,528.11	1,602.32	1,708.57	1,597.22	1,925.32	19,640.75	53.81
しき処分	しき処分量計【t】	5.27	6.56	6.91	3.94	8.84	3.66	3.47	3.54	4.69	7.75	10.81	6.69	72.13	0.20
	焼却処分【t】	5.27	6.56	6.91	3.94	8.84	3.66	3.47	3.54	4.69	7.75	10.81	6.69	72.13	0.20

(10)施設点検業務の概要

施設点検整備概要		
番 号	工 事 名 称	整 備 内 容
1	A 4系反応槽攪拌機分解点検工事	A 4系反応槽攪拌機の分解点検
2	自家発用揚水ポンプ更新および分解点検工事	自家発用揚水ポンプ更新および分解点検工事
3	北勢幹線マンホールポンプ場汚水ポンプ分解点検工事	汚水ポンプの分解点検工事
4	A 5系反応槽循環ポンプ分解点検工事	循環ポンプの分解点検工事
5	A 3系終沈汚泥掻寄機等分解点検工事	汚泥掻寄機の分解点検工事
6	No.11機械濃縮設備分解点検工事	濃縮設備の分解点検工事
7	汰上ポンプ場No.2-1汚水ポンプ他分解点検工事	汚水ポンプ等の分解点検工事
8	No.14汚泥脱水機他分解点検工事	脱水機棟の分解点検工事
9	No.11・12砂ろ過原水ポンプ他分解点検工事	原水ポンプ等の分解点検工事
10	No.12重力濃縮槽汚泥掻寄機分解点検工事	汚泥掻寄機の分解点検工事
11	自家発用冷却水ポンプ更新及び分解点検工事	自家発用ポンプ更新および分解点検工事
12	No.12余剰汚泥貯留槽攪拌機分解点検工事	攪拌機の分解点検工事
13	機械濃縮No.11汚泥供給ポンプ分解点検工事	汚泥供給ポンプの分解点検工事

設備故障状況及び処置概要		
年 月	名 称 及 び そ の 状 況	処 置 方 法
25 4	重油地下タンク用マンホールバックシム破損	部品購入済
	初沈管廊 NO.1空気源装置制御不良	部品購入済
25 5	B系初沈防食部剥離	北下対応補修済
25 6	機械濃縮設備 NO.11生物脱臭装置 給水タンク 給水電動弁動作不良	部品購入済
	No.21主ポンプ ドレン配管漏水	業者による修繕実施済
	場内側溝蓋損傷	業者による修繕実施済
	No.13砂ろ過器 操作用エアユニット ルブリケータよりエア漏れ	部品購入済
	場内舗装劣化	業者による修繕実施済
25 7	脱水機棟 NO.11脱水機 圧搾ベルト及び上ろ布蛇行検出器不良	部品購入済
	B系階段室A誘導灯	部品購入済
	本館中央帳票用プリンター廃トナーボックス異常	機器購入済
	スクリーンポンプ棟換気ファン電流計不良	部品購入済
	照明器具不良(本館1階メンテ控室)	部品購入済
	No.02返送汚泥ポンプグランド部腐食	業者による修繕実施済
	脱水機棟電気室「No.1、2動力変圧器盤」内設置換気扇動作不良	業者による修繕実施済
	No.3次垂注入ポンプアキュムレーター破損	部品購入済
	A41、44反応槽風量調整弁 電空ボジショナ動作不良	業者による修繕実施済
	No.13汚泥供給ポンプ吐出配管腐食	業者による修繕実施済
	脱水機棟電気室No.1、2動力変圧器盤内設置換気扇異音	業者による修繕実施済
	脱水機棟電気室No.2動力分岐盤 No.2主幹配線用遮断器スイッチ不良	業者による修繕実施済
	重油地下タンクレベル計表示異常	業者による清掃実施済
25 8	B系放流水路角落し設置箇所の変更	業者による修繕実施済
	汰上ポンプ場 NO.1破砕機過負荷	本年度の県工事完了まで停止
	初沈管廊 NO.2空気源装置制御不良	業者による修繕実施済
	No.12脱水機 補助ロール(8)軸受破損	北下対応済
	汰上ポンプ場 No.2破砕機異音発生	調査済次年度以降OH予定
	A 4 3 終沈汚泥掻寄機不良	業者による修繕実施済
	No.22送風機 停止時の故障発報について	部品購入済
	No.22送風機 スイング式逆止弁(カウンターウェイト付)動作不良	メンテ直営実施済
	No.12砂ろ過水移送ポンプ 逆止弁動作不良	部品購入済

年 月	名 称 及 び そ の 状 況	処 置 方 法
25 9	No.31主ポンプ 軸封水増圧ポンプ軸部より漏水	業者による修繕実施済
	放流ポンプ棟 火災報知器の誤作動について	業者による修繕実施済
	No.2自家発電機 始動渋滞	業者による修繕実施済
	機械濃縮設備 NO.11気泡助剤希釈槽引抜弁 操作電磁弁よりエア漏れ	部品購入済
	脱水機棟北側 散水用埋設管漏水	業者による修繕実施済
	作業員控室エアコン故障	業者による修繕実施済
	B系No.12消泡水ポンプ逆止弁不良	部品購入済
	B系初沈スカムビット フロートスイッチ固定ワイヤー不良	部品購入済
	A4、5系PACサブタンク液位電極不良	公社対応済
25 10	NO.13排水槽攪拌機オイル漏れ (NO.13、14排水槽攪拌機修繕工事)	業者による修繕実施済
	本館中央監視室東側窓ガラス用ブラインド故障	業者による修繕実施済
	機械濃縮設備 NO.12浮上装置過トルク発生について	部品購入済
	No. A41消泡水ストレーナ エレメント破損	部品購入済
	B系放流水サンプリングポンプ吐出不良	業者による修繕、機器購入済
	主分配槽スカムビット フロートスイッチ固定ワイヤー不良	部品購入済
	NO.2号自家発電機械室雨漏り	材料購入済
25 11	A4系 初沈汚泥引抜ポンプ吐出量低下	メンテ直営実施済
	機械濃縮棟地下 天井より漏水	業者による修繕実施済
	SP棟除塵機設備 しさ搬出用スクローコンベア ビンホルの漏水	メンテ直営実施済
	本館中央用プリンター異常	機器購入済
	主分配槽スカム排水ポンプ 電線管不良	メンテ直営実施済
	No.12脱水機 高圧ろ布洗浄水用ストレーナ設置位置不具合	メンテ直営実施済
	管理本館電気室 屋外水銀灯24時間タイマー故障	部品購入済
	B系送風機棟北側扉及びA系滅菌放流ポンプ棟2Fガラス破損	業者による修繕実施済
	機械濃縮棟 NO.12脱気槽オーバーフロー管腐食	業者による修繕実施済
	脱水機棟NO.13汚泥受槽攪拌機異常	業者による修繕実施済
	自家発電機棟前 散水バルブ不良	業者による修繕実施済
	B系塩素混和池 サンプリング返送ポンプ不良	機器購入済
	脱水機設備 1系ケーキホッパー下部変形	業者による修繕実施済
	A41反応槽 風量制御不良	業者による調整実施済
25 12	B系No.22次亜塩注入ポンプ 吐出側配管接合部より漏液	北下対応済
	No.41送風機風量調節弁 開度指示値不良	業者による修繕実施済
	脱水機設備 1系ケーキホッパー重量指示値不良	業者による修繕実施済
	NO.11砂ろ過器 屋外配管保温材 破損	業者による修繕実施済
	NO.12脱気槽脱臭ダクト腐食	業者による修繕実施済
	機械濃縮棟 NO.13浮上装置用車輪動作不良	業者による修繕実施済
	消火水槽水位電極用ブルボックス及び電線管腐食、ドレン配管虫よけネット用ネジ部腐食	業者による修繕実施済
	A系流入可動堰腐食	材料購入済
	A系PAC設備 電線管破損	公社対応済
	A系PAC設備 移送管用ソケット破損	材料購入済

年月	名称及びその状況	処置方法
26 1	A系最初沈殿池 自動採水器動作不良	業者による修繕実施済
	員弁川マンホールポンプ場 ポンプ制御盤 扉ストッパー欠損及び扉フチ変形	業者による修繕実施済
	脱水機棟 交流無停電電源装置不良	業者による修繕実施済
	機械濃縮設備 NO.12空気圧縮機 吐出圧力上昇不良	業者による修繕実施済
	B系No.12脱臭床排水ポンプ電流計不良	部品購入済、北下対応済
	B系放流流量計指示値不良	業者による修繕実施済
	A412～A414反応槽攪拌機 電流計指示値不良	部品購入済
	NO.01エアタンク・終沈池排水ポンプ グランド部腐食	業者による修繕実施済
	NO.1、NO.2初沈流出水路 開口蓋破損	業者による修繕実施済
	A54終沈越流水路銅板剥がれ	メンテ直営実施済
	B系反応槽空気量過大	業者による修繕実施済
	特別高圧電線路 2号線から1号線ループ切替渋滞	業者による修繕実施済
	脱臭機棟棟壁面亀裂	業者による修繕実施済
	砂ろ過棟壁面崩壊	業者による修繕実施済
	脱水機棟ケーシング搬出室スロープ横陥没	メンテ直営実施済
	送風機棟No.2湿式フィルター自動運転用タイマー不良	部品購入済
	No.16脱水機用空気圧縮機モード切替不良	復旧経過観察
	滅菌放流ポンプ棟西側陥没	メンテ直営実施済
26 2	A3・4脱臭床排水ポンプ浸水（警報誤発報）	北下対応済
	NO.21終沈汚泥引抜流量計指示値不良	業者による修繕実施済
	NO.11ルーツブロワー Vシール脱落	業者による対応済
	汰上ポンプ場 フェンス破損	業者による修繕実施済
	NO.1減圧水槽 温度調節弁動作不良	業者による修繕実施済
	A系PAC設備 移送用塩ビ管劣化	材料購入済
	No.2自家発冷却水逆止弁動作不良	部品購入済
	送風機棟 No.2冷却水ポンプ吸込み側ゲートバルブ動作不良	部品購入済
	No.14脱水機レギュレーターエア漏れ	材料購入済
	脱水中央用プリンター 異常	機器購入済
	No.2自家発冷却水ポンプ 逆止弁動作不良	部品購入済
26 3	No.13脱水機重力バンド蛇行修正用電磁弁エア漏れ	部品購入済
	送風機棟 No.2冷却水ポンプインペラ劣化	メンテ直営実施済
	A22、A31循環ポンプ スライディングガイド腐食	メンテ直営実施済
	A23循環ポンプ メカニカルシート不良	メンテ直営実施済
	脱水機棟及びA系地下管廊 蛍光灯不良	業者による修繕実施済
	内線電話機故障	機器購入済
	砂ろ過棟 内線電話回線異常	業者による修繕実施済
	No.1PAC移送ポンプ吐出側電磁弁不良	部品購入済
	初沈2系自動採水装置	業者による修繕実施済
	汰上ポンプ場 NO.2ポンプ井攪拌機絶縁不良	業者による修繕実施済
	B系送風機棟電気室及び水処理電気室 ミニUPSアラーム表示点灯	業者による修繕実施済
	終沈設備 2系散水ポンプ フート弁動作不良	部品購入済及び業者による対応実施済

項目 月	チウラム				シマジン				チオベンカルブ				ベンゼン				セレン				ふつ素				ほう素				アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物および硝酸化合物の合計							
	mg/l				mg/l				mg/l				mg/l				mg/l				mg/l				mg/l											
単位	流入	放流A	放流B	放流	流入	放流A	放流B	放流	流入	放流A	放流B	放流	流入	放流A	放流B	放流	流入	放流A	放流B	放流	流入	放流A	放流B	放流	流入	放流A	放流B	放流	流入	放流A	放流B	放流	流入	放流A	放流B	放流
4月	<0.006	<0.006	<0.006	-	<0.003	<0.003	<0.003	-	<0.02	<0.02	<0.02	-	<0.01	<0.01	<0.01	-	<0.01	<0.01	<0.01	-	<0.5	<0.5	<0.5	-	<1	<1	<1	-	7.5	5.6	6.9	-				
5月	<0.006	<0.006	<0.006	-	<0.003	<0.003	<0.003	-	<0.02	<0.02	<0.02	-	<0.01	<0.01	<0.01	-	<0.01	<0.01	<0.01	-	<0.5	<0.5	<0.5	-	<1	<1	<1	-	6.6	5.5	5.9	-				
6月	<0.006	<0.006	<0.006	-	<0.003	<0.003	<0.003	-	<0.02	<0.02	<0.02	-	<0.01	<0.01	<0.01	-	<0.01	<0.01	<0.01	-	<0.5	<0.5	<0.5	-	<1	<1	<1	-	6.5	6.4	6.7	-				
7月	<0.006	<0.006	<0.006	-	<0.003	<0.003	<0.003	-	<0.02	<0.02	<0.02	-	<0.01	<0.01	<0.01	-	<0.01	<0.01	<0.01	-	<0.5	<0.5	<0.5	-	<1	<1	<1	-	6.2	6.0	6.6	-				
8月	<0.006	<0.006	<0.006	-	<0.003	<0.003	<0.003	-	<0.02	<0.02	<0.02	-	<0.01	<0.01	<0.01	-	<0.01	<0.01	<0.01	-	<0.5	<0.5	<0.5	-	<1	<1	<1	-	6.0	5.6	7.2	-				
9月	<0.006	<0.006	<0.006	-	<0.003	<0.003	<0.003	-	<0.02	<0.02	<0.02	-	<0.01	<0.01	<0.01	-	<0.01	<0.01	<0.01	-	<0.5	<0.5	<0.5	-	<1	<1	<1	-	4.9	5.2	6.3	-				
10月	<0.006	<0.006	<0.006	-	<0.003	<0.003	<0.003	-	<0.02	<0.02	<0.02	-	<0.01	<0.01	<0.01	-	<0.01	<0.01	<0.01	-	<0.5	<0.5	<0.5	-	<1	<1	<1	-	6.8	5.8	7.2	-				
11月	<0.006	<0.006	<0.006	-	<0.003	<0.003	<0.003	-	<0.02	<0.02	<0.02	-	<0.01	<0.01	<0.01	-	<0.01	<0.01	<0.01	-	<0.5	<0.5	<0.5	-	<1	<1	<1	-	8.2	6.6	6.7	-				
12月	<0.006	<0.006	<0.006	-	<0.003	<0.003	<0.003	-	<0.02	<0.02	<0.02	-	<0.01	<0.01	<0.01	-	<0.01	<0.01	<0.01	-	<0.5	<0.5	<0.5	-	<1	<1	<1	-	9.4	7.3	7.4	-				
1月(~21日)	<0.006	<0.006	<0.006	-	<0.003	<0.003	<0.003	-	<0.02	<0.02	<0.02	-	<0.01	<0.01	<0.01	-	<0.01	<0.01	<0.01	-	<0.5	<0.5	<0.5	-	<1	<1	<1	-	8.9	8.0	7.6	-				
1月(22日~)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
2月	<0.006	-	-	<0.006	<0.003	-	-	<0.003	<0.02	-	-	<0.02	<0.01	-	-	<0.01	<0.01	-	-	<0.01	<0.5	-	-	<0.5	<1	-	-	<1	8.8	-	-	7.9				
3月	<0.006	-	-	<0.006	<0.003	-	-	<0.003	<0.02	-	-	<0.02	<0.01	-	-	<0.01	<0.01	-	-	<0.01	<0.5	-	-	<0.5	<1	-	-	<1	8.7	-	-	7.4				
最高	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<1	<1	<1	<1	10	8.1	7.8	8.4				
最低	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<1	<1	<1	<1	3.6	3.8	4.5	7.0				
平均	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<1	<1	<1	<1	7.3	6.1	6.8	7.6				
測定回数	24	20	20	4	24	20	20	4	24	20	20	4	24	20	20	4	24	20	20	4	24	20	20	4	24	20	20	4	25	21	21	4				
放流基準値			0.06				0.03				0.2				0.1				0.1				15			230					100					

項目 月	1,4-ジオキサン				ダイオキシン類			
	mg/l				pg-TEQ/L			
単位	流入	放流A	放流B	放流	流入	放流A	放流B	放流
4月	<0.05	<0.05	<0.05	-	-	-	-	-
5月	<0.05	<0.05	<0.05	-	0.37	0.00015	0.00014	-
6月	<0.05	<0.05	<0.05	-	-	-	-	-
7月	<0.05	<0.05	<0.05	-	-	-	-	-
8月	<0.05	<0.05	<0.05	-	-	-	-	-
9月	<0.05	<0.05	<0.05	-	-	-	-	-
10月	<0.05	<0.05	<0.05	-	-	-	-	-
11月	<0.05	<0.05	<0.05	-	-	-	-	-
12月	<0.05	<0.05	<0.05	-	-	-	-	-
1月(~21日)	<0.05	<0.05	<0.05	-	-	-	-	-
1月(22日~)	-	-	-	-	-	-	-	-
2月	<0.05	-	-	<0.05	-	-	-	-
3月	<0.05	-	-	<0.05	-	-	-	-
最高	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	0.37	0.00015	0.00014	-
最低	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	0.37	0.00015	0.00014	-
平均	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	0.37	0.00015	0.00014	-
測定回数	24	20	20	4	1	1	1	-
放流基準値			0.5				10	

備考

1. 数値は各月の平均値である。
2. 各月の透視度の平均は、測定結果が100度を超えた場合、「100度」として算出している。
3. <0.0Xは報告下限値未満であることを示す。
4. 「最高」「最低」は年間の最高値最低値である。
5. 「平均」は月平均の平均値である。
6. 放流基準値の()内の数値は日間平均値を示す。
7. 平成26年1月22日より、A系とB系の放流水が合流し、放流水(総合)の1本となった。

イ. 生物反応槽試験

A1系: 擬似嫌気-好気法

項目	水温 ℃	pH —	MLDO mg/l	SV30 %	MLSS mg/l	SVI ml/g	MLVSS mg/l	有機分 %	Rr mg/l·h	Kr mg/g·h
4月	19.2	6.8	3.1	30	1670	180	1300	78	7.9	4.7
5月	21.3	6.9	1.4	28	1830	150	1450	79	12	6.4
6月	24.2	6.9	2.1	18	1600	120	1280	80	12	7.3
7月	26.0	6.9	2.1	28	2030	140	1610	79	9.7	4.7
8月	27.4	6.9	1.6	26	1430	180	1090	76	8.8	6.3
9月	26.8	6.9	1.8	39	1880	200	1400	74	10	5.3
10月	25.5	6.9	2.3	34	1930	180	1460	75	10	5.0
11月	22.4	6.9	2.0	46	2500	180	1940	78	9.9	4.1
12月	19.7	6.9	3.0	34	1790	190	1370	77	8.3	4.6
1月	17.7	6.8	2.1	40	2550	160	2000	78	9.3	3.6
2月	17.0	6.8	1.6	34	2170	160	1700	78	8.1	3.8
3月	17.7	6.8	1.6	17	1590	110	1250	79	17	11
最高	28.1	7.1	5.0	62	3200	230	2500	81	27	15
最低	16.5	6.7	0.6	9	830	100	650	72	6.2	3.1
平均	22.1	6.9	2.1	31	1910	160	1490	78	10	5.6
測定回数	53	49	52	53	52	52	52	52	53	52

A2-5系: 嫌気-無酸素-好気法

項目	水温 ℃	pH —	MLDO mg/l	SV30 %	MLSS mg/l	SVI ml/g	MLVSS mg/l	有機分 %	Rr mg/l·h	Kr mg/g·h
4月	19.6	6.8	2.2	44	2130	210	1720	81	11	5.0
5月	21.9	6.8	1.8	30	2160	140	1740	80	14	6.3
6月	24.3	6.8	1.6	20	1950	110	1540	79	13	6.6
7月	26.1	6.8	1.8	23	1960	120	1550	79	10	5.3
8月	27.7	6.9	1.7	30	2100	150	1650	78	9.9	4.7
9月	26.9	6.9	1.8	39	1890	200	1490	79	9.6	5.1
10月	25.6	6.8	1.7	42	2000	210	1560	78	9.7	4.8
11月	22.6	6.8	2.3	36	1910	190	1500	79	8.1	4.3
12月	20.0	6.8	2.3	33	2170	150	1720	79	9.3	4.2
1月	18.0	6.7	2.6	28	2480	120	1980	80	11	4.3
2月	17.4	6.7	2.3	25	2370	110	1890	80	8.7	3.7
3月	17.9	6.8	2.6	25	2240	110	1790	80	9.8	4.5
最高	28.5	7.1	5.9	63	2890	300	2350	82	19	8.7
最低	16.7	6.6	<0.5	12	1390	70	1080	76	5.1	2.6
平均	22.3	6.8	2.1	31	2110	150	1680	79	10	4.9
測定回数	51	51	51	51	50	50	50	50	51	50

B1系: 嫌気-無酸素-好気法

項目	水温 ℃	pH —	MLDO mg/l	SV30 %	MLSS mg/l	SVI ml/g	MLVSS mg/l	有機分 %	Rr mg/l·h	Kr mg/g·h
4月	19.5	6.7	2.3	73	2290	320	1870	82	13	5.8
5月	21.6	6.7	1.4	54	2390	220	1960	82	17	6.9
6月	24.3	6.8	1.8	37	2350	160	1890	80	15	6.3
7月	26.1	6.8	1.6	32	2220	140	1780	81	15	6.6
8月	27.6	6.8	1.5	27	2120	130	1660	78	13	6.2
9月	26.9	6.8	2.2	36	2350	150	1850	78	13	5.6
10月	25.5	6.7	2.5	31	2060	150	1620	79	13	6.2
11月	22.4	6.7	2.9	36	2230	160	1790	81	12	5.4
12月	20.1	6.8	2.0	43	2360	180	1930	82	19	5.7
1月	18.2	6.7	1.5	56	2750	200	2280	83	15	5.4
2月	17.6	6.6	1.5	51	2780	180	2310	83	14	4.8
3月	18.1	6.6	1.0	55	2670	200	2250	84	28	11
最高	28.2	6.9	4.5	98	2870	450	2380	85	41	15
最低	17.0	6.6	<0.5	24	1930	110	1520	77	10	3.7
平均	22.3	6.7	1.9	44	2380	180	1930	81	16	6.3
測定回数	70	51	70	70	69	69	67	67	51	50

ウ. 脱水汚泥試験

(ア) 溶出試験

項目 月	アルキル 水銀	総水銀	カドミウム	鉛	有機りん	六価 クロム	ひ素	全シアン	ポリ塩化 ビフェニル	トリクロ エチレン	テトラクロ エチレン
単位	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l
5月	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01	<0.1	<0.05	0.03	<0.1	<0.0005	<0.03	<0.01
8月	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01	<0.1	<0.05	<0.01	<0.1	<0.0005	<0.03	<0.01
11月	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01	<0.1	<0.05	<0.01	<0.1	<0.0005	<0.03	<0.01
2月	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01	<0.1	<0.05	0.02	<0.1	<0.0005	<0.03	<0.01
最高	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01	<0.1	<0.05	0.03	<0.1	<0.0005	<0.03	<0.01
最低	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01	<0.1	<0.05	<0.01	<0.1	<0.0005	<0.03	<0.01
平均	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01	<0.1	<0.05	0.01	<0.1	<0.0005	<0.03	<0.01
測定回数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4

項目 月	ジクロロメタン	四塩化 炭素	1,2- ジクロロエタン	1,1- ジクロロエチレン	シス-1,2- ジクロロエチレン	1,1,1- トリクロロエタン	1,1,2- トリクロロエタン	1,3-ジクロロ プロペン	チウラム	シマジン	チオベンカルブ
単位	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l
5月	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02
8月	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02
11月	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02
2月	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02
最高	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02
最低	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02
平均	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006	<0.003	<0.02
測定回数	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4

項目 月	ベンゼン	セレン	1,4- ジオキサン
単位	mg/l	mg/l	mg/l
5月	<0.01	<0.01	<0.05
8月	<0.01	<0.01	<0.05
11月	<0.01	<0.01	<0.05
2月	<0.01	<0.01	<0.05
最高	<0.01	<0.01	<0.05
最低	<0.01	<0.01	<0.05
平均	<0.01	<0.01	<0.05
測定回数	4	4	4

備考

1. <0.0Xは報告下限値未満であることを示す。

(イ) 溶出試験(し渣・沈砂)

項目 月	検体種類	アルキル 水銀	総水銀	カドミウム	鉛	有機りん	六価 クロム	ひ素	全シアン	ポリ塩化 ビフェニル	トリクロ エチレン
単位		mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l
1月	し渣	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01	<0.1	<0.05	<0.01	<0.1	<0.0005	<0.03
1月	沈砂	検出せず	<0.0005	<0.01	<0.01	<0.1	<0.05	<0.01	<0.1	<0.0005	<0.03

項目 月	検体種類	トリクロ エチレン	ジクロロメタン	四塩化 炭素	1,2- ジクロロエタン	1,1- ジクロロエチレン	シス-1,2- ジクロロエチレン	1,1,1- トリクロロエタン	1,1,2- トリクロロエタン	1,3-ジクロロ プロペン	チウラム
単位		mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l
1月	し渣	<0.01	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006
1月	沈砂	<0.01	<0.02	<0.002	<0.004	<0.02	<0.04	<0.3	<0.006	<0.002	<0.006

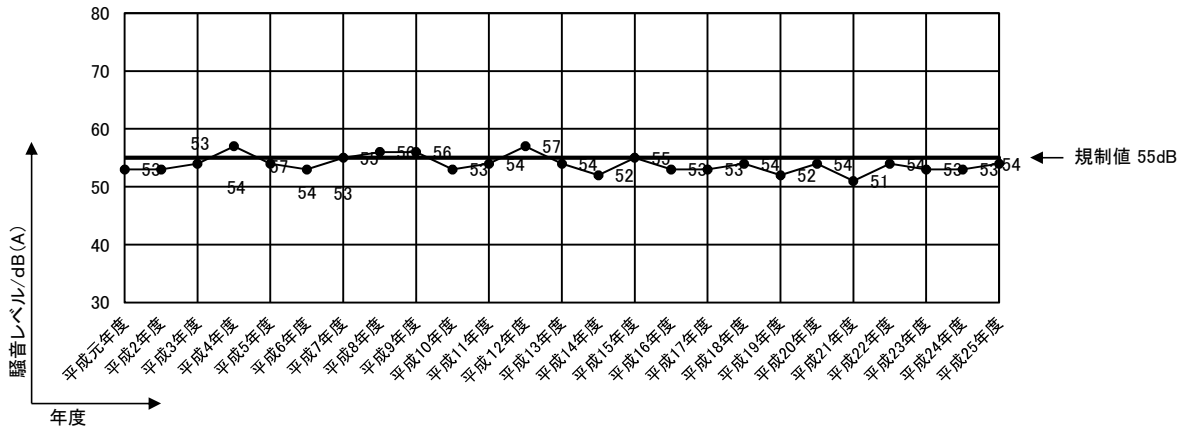
項目 月	検体種類	シマジン	チオベンカルブ	ベンゼン	セレン	1,4- ジオキサン
単位		mg/l	mg/l	mg/l	mg/l	mg/l
1月	し渣	<0.003	<0.02	<0.01	<0.01	<0.05
1月	沈砂	<0.003	<0.02	<0.01	<0.01	<0.05

備考

1. <0.0Xは報告下限値未満であることを示す。

(12) 周辺環境調査(北部浄化センター)

ア.騒音調査(夜間)



備考 1.敷地境界における各年度の最高値を記入(2地点×4回/年実施)
2.基準値は太線で表示

イ.悪臭調査

(ア)臭覚測定

項目	年度	H.元	H.2	H.3	H.4	H.5	H.6	H.7	H.8	H.9	H.10	H.11	H.12	H.13	H.14
臭気指数		-	-	-	-	-	-	<10	12	<10	<10	28	<10	14	<10
臭気濃度		-	-	<10	<10	<10	<10	<10	<10	<10	<10	630	<10	23	<10
臭気強度		-	-	1	<1	<1	<1	1.3	1.5	<1	<1	4.5	<1	2.5	<1

項目	年度	H.15	H.16	H.17	H.18	H.19	H.20	H.21	H.22	H.23	H.24	H.25			
臭気指数		<10	<10	<10	<10	<10	17	50	<10	12	<10	<10			
臭気濃度		<10	<10	<10	<10	<10	49	17	<10	16	<10	<10			
臭気強度		<1	<1	<1	<1	<1	-	-	-	-	-	-			

備考 1.敷地境界における各年度の最高値を記入(6地点×6回/年)

(イ)機器試験

(単位:ppm)

項目	年度	H.元	H.2	H.3	H.4	H.5	H.6	H.7	H.8	H.9	H.10	H.11	H.12	H.13	H.14
アンモニア		<0.1	<0.1	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	0.1	<0.05	<0.1	<0.1
メチルメルカプタン		<0.0005	<0.0005	<0.0002	<0.0002	0.0059	0.0019	0.0042	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
硫化水素		<0.001	0.001	<0.001	<0.001	0.180	0.300	0.033	0.008	0.001	<0.001	0.010	0.004	<0.002	<0.002
硫化メチル		<0.001	<0.001	<0.001	<0.0005	<0.0005	0.0017	<0.0005	0.0007	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005	<0.001	<0.001
二硫化メチル		<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.0009	<0.0009

項目	年度	H.15	H.16	H.17	H.18	H.19	H.20	H.21	H.22	H.23	H.24	H.25			
アンモニア		<0.1	0.1	0.2	0.2	0.4	0.2	<0.1	<0.1	0.2	<0.1	0.1			
メチルメルカプタン		<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.0006	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002			
硫化水素		<0.002	<0.002	0.003	<0.002	<0.002	0.009	0.003	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002			
硫化メチル		<0.001	<0.001	<0.001	0.002	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001			
二硫化メチル		<0.0009	<0.0009	<0.0009	<0.0009	<0.0009	<0.0009	<0.0009	<0.0009	<0.0009	<0.0009	<0.0009			

備考 1.敷地境界における各年度の最高値を記入(6地点×6回/年実施)
2.他に放流水中の悪臭4物質試験も実施しているが、全て報告下限値未満であった。

ウ.水質調査

(生活環境項目)

(単位:表示のないものはmg/l)

項目	年度	H.元	H.2	H.3	H.4	H.5	H.6	H.7	H.8	H.9	H.10	H.11	H.12	H.13	H.14	環境基準
透明度(m)		0.6	1.7	0.7	1.5	0.9	1.5	0.9	1.5	1.2	1.3	0.3	1.0	1.8	1.2	—
pH		7.3-8.2	8.1-8.6	8.0-8.6	7.4-8.7	8.0-8.4	7.8-8.3	7.5-8.7	7.6-8.6	7.4-8.7	7.8-8.5	7.6-8.3	7.7-8.7	7.5-8.6	7.6-8.2	7.8~8.3
溶存酸素		4.1-9.1	6.6-9.7	6.7-13	4.8-12	5.3-11	4.4-8.9	6.3-11	6.3-13	5.1-12	5.3-11	6.1-8.4	7.1-11	6.4-9.8	6.6-9.2	5mg/l以上
COD		6.1	2.7	5.4	5.7	4.6	4.2	6.2	6.2	8.0	5.4	3.7	6.9	4.1	3.6	3mg/l以下
全窒素		1.40	0.55	0.74	1.40	1.60	1.70	3.10	2.50	6.30	1.60	1.50	1.90	2.53	2.91	0.3mg/l以下
全りん		0.130	0.060	0.094	0.220	0.099	0.230	0.210	0.071	0.064	0.099	0.063	0.095	0.331	0.181	0.03mg/l以下
n-ヘキサン抽出物質			<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	0.5	検出されないこと
塩素イオン		17,000	17,000	18,000	18,000	18,000	19,000	18,000	17,000	18,000	17,000	18,000	14,000	17,000	16,400	—
陰イオン界面活性剤		0.06	0.05	<0.05	<0.05	<0.05	0.06	<0.05	<0.05	0.06	0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	—
大腸菌群数(MPN/100ml)		920	1,700	2,700	220	1,300	1,100	13,000	220	7,900	220	16,000	16,000	540	3,500	—
全亜鉛		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	—

項目	年度	H.15	H.16	H.17	H.18	H.19	H.20	H.21	H.22	H.23	H.24	H.25				環境基準
透明度(m)		1.0	1.0	1.5	2.5	2.0	1.5	0.9	0.8	1.1	0.8	1.0				—
pH		7.5-8.3	7.3-8.9	7.8-8.7	7.4-8.4	7.4-8.2	7.6-8.2	6.8-8.1	7.3-8.0	7.7-8.9	7.6-8.4	7.2-8.5				7.8~8.3
溶存酸素		4.1-10	5.5-13	5.2-11	4.8-7.3	5.8-10	3.9-9.6	3.8-9.2	4.5-8.8	2.4-12	5.5-12	5.6-11				5mg/l以上
COD		4.2	5.8	4.3	6.4	3.8	5.3	3.5	4.8	5.0	7.7	5.4				3mg/l以下
全窒素		1.95	1.90	1.10	1.80	1.40	1.90	2.0	2.5	1.7	1.9	2.2				0.3mg/l以下
全りん		0.117	0.120	0.092	0.170	0.130	0.150	0.15	0.22	0.17	0.14	0.11				0.03mg/l以下
n-ヘキサン抽出物質		<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5				検出されないこと
塩素イオン		17,000	16,000	17,000	18,000	17,000	16,000	16,000	16,000	19,000	14,000	16,000				—
陰イオン界面活性剤		<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05				—
大腸菌群数(MPN/100ml)		1,100	790	1,700	3,500	1,400	7,900	790	9,200	16,000	16,000	24,000				—
全亜鉛		-	-	-	-	-	-	-	0.026	0.025	0.032	0.036				—

- 備考 1. 放流口最寄地点における最高値(6回/年実施)。但し透明度は最低値、pH・溶存酸素は範囲を記入。
 2. 他に健康項目26項目(平成12年度までは23項目)の調査(1地点×3回/年)を実施している。

エ.底質調査

(乾泥あたり含有量)

(単位:表示のないものはmg/kg)

項目 \ 年度	H.元	H.2	H.3	H.4	H.5	H.6	H.7	H.8	H.9	H.10	H.11	H.12	H.13	H.14
COD(mg/g)	35	6.6	17	9.2	17	4.3	10	9.1	7.4	8.7	9.6	9.0	13	6.0
n-ヘキサン抽出物質	490	440	280	660	<50	<50	89	89	<50	300	1900	240	340	100
カドミウム	0.21	0.13	<0.1	0.1	<0.1	0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	0.2	<0.1
全シアン	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1
鉛	25	13	25	18	15	17	9.3	9.2	12	14	14	14	21	22
六価クロム	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1
全クロム	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
砒素	6.4	5.0	7.3	6.7	4.5	4.3	7.1	2.0	5.2	2.9	1.7	1.4	6.8	8.1
総水銀	0.18	0.05	0.18	0.13	0.10	0.17	0.07	0.14	0.09	0.12	0.11	0.09	0.10	0.07
アルキル水銀	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
ポリ塩化ビフェニル	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
全窒素 (mg/g)	0.88	0.56	1.4	1.1	0.88	0.90	0.48	0.45	0.50	0.86	0.87	0.70	1.1	0.70
全りん (mg/g)	0.46	0.34	0.38	0.47	0.21	0.52	0.72	0.68	0.05	0.09	0.07	0.03	0.34	0.81
硫化物 (mg/g)	0.12	0.19	0.65	0.19	0.72	0.26	0.26	0.21	0.32	0.30	1.60	0.60	0.24	0.89
含水率 (%)	51.0	31.0	33.0	32.0	29.0	30.0	23.0	25.0	24.0	26.0	29.6	29.8	36.6	28.4
強熱減量 (%)	5.8	3.0	6.1	5.2	4.4	4.2	3.7	3.8	3.3	3.9	4.4	3.9	5.1	3.9

項目 \ 年度	H.15	H.16	H.17	H.18	H.19	H.20	H.21	H.22	H.23	H.24	H.25			
COD(mg/g)	6.4	7.0	14.0	14.0	9.0	9.0	12	13	13	12	14			
n-ヘキサン抽出物質	140	430	900	710	590	590	810	200	290	660	340			
カドミウム	0.2	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	0.1	0.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1			
全シアン	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1			
鉛	19	16	19	22	14	18	19	16	14	17	21			
六価クロム	<1	-	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1			
全クロム	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
砒素	6.6	5.1	3.5	4.3	5.4	5.6	8.0	7.3	6.9	5.8	7.1			
総水銀	0.10	0.08	0.09	0.07	0.08	0.10	0.09	0.06	0.08	0.08	0.08			
アルキル水銀	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05			
ポリ塩化ビフェニル	<0.05	<0.05	0.01	<0.05	<0.01	0.01	<0.01	<0.01	<0.05	<0.05	<0.05			
全窒素 (mg/g)	0.80	0.70	1.2	0.60	0.90	0.90	1.3	0.80	0.70	0.8	1.1			
全りん (mg/g)	0.97	0.40	0.40	0.40	0.50	0.40	0.50	0.40	0.40	0.4	0.4			
硫化物 (mg/g)	0.44	0.62	0.17	0.42	0.28	0.20	0.22	0.15	0.05	0.15	0.26			
含水率 (%)	29.9	32.0	35.0	32.0	32.0	34.0	32.0	31.8	28.8	31.8	31.6			
強熱減量 (%)	5.0	3.9	5.6	4.3	3.8	4.7	4.6	4.1	3.8	5.2	5.8			

備考

1 放流口最寄地点における値を記入(1回/年実施)

2 他に溶出試験として7項目を実施(1回/年)しているが、放流口最寄地点(3地点)で全て報告下限値未満であった。